

美術学部・美術研究科

科目 日本画実技 I

担当 松村 公嗣

回答した学生 10 名

受講登録者 10 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。
- 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| | 設問 | 1 |
|---|--------|----|
| 5 | 100% | 5 |
| 4 | 90%くらい | 4 |
| 3 | 80%くらい | 1 |
| 2 | 70%くらい | 0 |
| 1 | 60%以下 | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 10 |

| | 設問 | 2 | 3 |
|---|------------|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 7 | 10 |
| 4 | ややそう思う | 3 | 0 |
| 3 | どちらともいえない | 0 | 0 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 |
| | 小計 | 10 | 10 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| | 設問 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|------------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 2 | 4 | 9 | 5 | 6 | 2 | 9 | 9 |
| 4 | ややそう思う | 2 | 5 | 1 | 3 | 4 | 5 | 1 | 1 |
| 3 | どちらともいえない | 5 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |

| | | | | | | | | |
|--|---------|----|----|----|-----|------------|-----------------------------|--|
| 授業科目 | 日本画実技 I | | | | 担当者 | 松村公嗣・岩永てるみ | | |
| 開講時期 | 通年 | 曜日 | 毎日 | 時限 | 1・2 | アンケート様式 | <input type="checkbox"/> 講義 | <input checked="" type="checkbox"/> 実習 |
| <p>1 この授業における教育方法の特徴</p> <p>日本画の基本となる写生を基礎とする日本画の基礎的な技術を習得する。また、絵具、筆、膠、及び基底財としての雲肌麻紙、絹等の日本画材料を理解することを授業目的としており、下記の項目の到達を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本画の基礎的な技術を身につける。 ・絵具、膠の使い方や和紙、絵絹に対する知識を学ぶと共に、使用する技術を身につける。 ・写生の必要性を理解する。 <p>2 アンケート結果の所見</p> <p>(1) 受講した学生自身について</p> <p>専攻内での出席簿によるとほとんどの学生が80%以上の出席率であり、大方きちんと出席して課題をこなしているように感じる。アンケートの集計でも真剣に取り組んだという回答がほとんどで、授業内容にも満足であったという回答が大半であった。</p> <p>結果、全体として課題に対して意欲的に熱心に取り組んでいると思われる。</p> <p>(2) 授業について</p> <p>授業の内容や進め方、教員とのコミュニケーションにも大方満足しており、授業も分かり易かったと回答している学生が多かった。シラバスが授業選択に役立ったかという設問では、あまり活用されていないようであったが、実技授業では全員が同じ授業を選択しなければならないので、あまり意味のない設問であったかと思う。シラバス以外でも課題ごとに内容をプリントし掲示しているが、学生が活用出来るように更にシラバスを分かり易くするとともに、授業内でのフォローを強化していきたい。</p> <p>(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎からの丁寧な指導がよかったとの記述に対して 高校時代とは異なる授業形態、授業内容であるので出来る限り学生に関わり、時には個人面談を行うなど細かく丁寧な指導を心掛けていることが反映されたと評価する。 <p>(2) のアンケート結果も踏まえ、更に良く分かり易く丁寧な授業を提供出来るよう努力したい。</p> <p>(4) 自由記述より学生からの要望について</p> <p>毎年、毎回のアンケート結果でも同様に、施設に対する要望が強い。日本画の材料の性質上、気温が20度以下になると接着として必ず使用する膠が固まってしまい、制作をすることが出来なくなってしまう。単純に暑い、寒いとわがままを言うてのことはないのですが、法人側もこの点だけは改善する方向に努力して欲しい。公立大学で授業料が安いかもしれないが、学生には質の高い教育を提供するのは、教員だけでなく大学としての義務を負っていると考えるので、アトリエの環境の向上を強く要望する。</p> <p>3 今後の授業の工夫・改善 (FD)</p> <p>前述のようにアンケートでの結果はありがたいものだったが、学生が何を望み、何を難しいと考えているかを問いながら、更に分かり易く、興味を引き、新たな発想に結びつくような授業を目指したい。その為にも教員の研究活動そのものを努力し、作家の背中を見せられるようにすると共に、新しい授業方法も探すよう勤める。</p> <p>4 その他、意見</p> | | | | | | | | |

科目 日本画実技Ⅱ

担当 吉村 佳洋

回答した学生 11名

受講登録者 12名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。
- 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| | 設問 | 1 |
|---|--------|----|
| 5 | 100% | 1 |
| 4 | 90%くらい | 7 |
| 3 | 80%くらい | 2 |
| 2 | 70%くらい | 1 |
| 1 | 60%以下 | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 11 |

| | 設問 | 2 | 3 |
|---|------------|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 7 | 9 |
| 4 | ややそう思う | 2 | 1 |
| 3 | どちらともいえない | 2 | 0 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 1 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 |
| | 小計 | 11 | 11 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| | 設問 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|------------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 2 | 1 | 7 | 8 | 6 | 1 | 6 | 4 |
| 4 | ややそう思う | 1 | 4 | 2 | 2 | 3 | 0 | 4 | 4 |
| 3 | どちらともいえない | 5 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 |
| 2 | あまりそう思わない | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 2 | 3 | 1 | 0 | 1 | 8 | 1 | 1 |
| | 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 小計 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 |

科目 日本画実技Ⅳ

担当 角島 直樹

回答した学生 9名

受講登録者 9名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。
- 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| | 設問 | 1 |
|---|--------|---|
| 5 | 100% | 2 |
| 4 | 90%くらい | 2 |
| 3 | 80%くらい | 4 |
| 2 | 70%くらい | 0 |
| 1 | 60%以下 | 1 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 9 |

| | 設問 | 2 | 3 |
|---|------------|---|---|
| 5 | 強くそう思う | 5 | 6 |
| 4 | ややそう思う | 2 | 2 |
| 3 | どちらともいえない | 2 | 1 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 |
| | 小計 | 9 | 9 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| | 設問 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|------------|---|---|---|---|---|---|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 2 | 2 | 3 | 2 | 2 | 0 | 2 | 1 |
| 4 | ややそう思う | 3 | 5 | 5 | 3 | 4 | 0 | 6 | 6 |
| 3 | どちらともいえない | 3 | 1 | 1 | 3 | 3 | 1 | 1 | 2 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 7 | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 |

日本画実技4のアンケート結果に対する報告書

- 1、実技授業は朝9時に始まるが、授業開始からの出席にはもう少し努力を求めたい。また、各自の自己評価は少し甘めと思われる。
- 2～5、特に4年生は、前期予備制作・後期卒業制作なので、意欲的に取り組んだと思うし、当然のことと思われる。
- 6～8、学生との1対1の対話によって、制作に関する本人の発想・表現・構成をより良い方向に導くことを最善と考えて指導しているので、出席が良く対話のキャッチボールが多くできた学生と、そうでない学生との差が表れたものと思われる。
- 9、本学年は人数も少なくスペースとしては十分な空間が与えられていると思う。ただ、床に絵を寝かせて作業するのが基本であるため、暖房の必要な時期は日本画材料にとって厳しく、常に電気コンロ等を併用せねばならず不満が多く出るように思われる。
- 10～13、1年間をかけて制作していく過程で、じっくりと大作に取り組んでいくことにおける難しさも理解し、その対策も考えながら着実に制作するということを実感できたと思う。そういった中で、4年間の授業を通して本当に成長し、変わったと思える学生がいたり、仕事（作業）をこれくらいしなければ作品として仕上がったとはいえないと理解した学生を見ると指導ややりがいを感じる。
- 14、9でも述べたように、日本画にとっての環境は、最悪ではないにしろ多々不便なことが多いと思われる。（他大学においては日本画アトリエが畳敷きの大学も多い！）

科目 彫刻実技 I

担当 彫刻専攻

回答した学生 9 名

受講登録者 11 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。
- 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| | 設問 | 1 |
|---|--------|---|
| 5 | 100% | 4 |
| 4 | 90%くらい | 4 |
| 3 | 80%くらい | 1 |
| 2 | 70%くらい | 0 |
| 1 | 60%以下 | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 9 |

| | 設問 | 2 | 3 |
|---|------------|---|---|
| 5 | 強くそう思う | 6 | 7 |
| 4 | ややそう思う | 1 | 1 |
| 3 | どちらともいえない | 2 | 1 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 |
| | 小計 | 9 | 9 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| | 設問 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|------------|---|---|---|---|---|---|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 2 | 1 | 4 | 5 | 4 | 2 | 4 | 4 |
| 4 | ややそう思う | 0 | 5 | 3 | 3 | 4 | 3 | 4 | 4 |
| 3 | どちらともいえない | 5 | 2 | 2 | 0 | 1 | 4 | 1 | 1 |
| 2 | あまりそう思わない | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 |

| | | | | | | | |
|---|--------|----|----|-----|---------|-----------------------------|--|
| 授業科目 | 彫刻実技 I | | | 担当者 | 森北 伸 | | |
| 開講時期 | 前期 | 曜日 | 時限 | 1・2 | アンケート様式 | <input type="checkbox"/> 講義 | <input checked="" type="checkbox"/> 実習 |
| <p>1 この授業における教育方法の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塑像・木彫・石膏取りなどを各授業を通して、彫刻実技の基礎を学ぶ。また専門技術の習得とそのための機会及び道具の使い方と知識を学ぶ。 <p>2 アンケート結果の所見</p> <p>(1) 受講した学生自身について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果を見る限り、おおむね良好と考えて良いと思う。 <p>(2) 授業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎技術の習得目的の授業なので、学生には技術・忍耐力が養われる反面、つまらなく感じてしまう危険性があり、それらのバランスを取るのが難しい。 今回は、おおむね成功と考えている。 <p>(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートからは判断出来ない。 <p>(4) 自由記述より学生からの要望について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備に対しての要望が多く、早い改善を望む。 <p>3 今後の授業の工夫・改善 (FD)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な授業内容が多いので、受講生が飽きないような授業運営をすること。 ・少人数制の利点を生かし、一人一人に合わせたディスカッションを大切にする。 <p>4 その他、意見</p> | | | | | | | |

科目 彫刻実技Ⅱ

担当 彫刻専攻

回答した学生 9名

受講登録者 10名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。
- 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| | 設問 | 1 |
|---|--------|---|
| 5 | 100% | 3 |
| 4 | 90%くらい | 1 |
| 3 | 80%くらい | 3 |
| 2 | 70%くらい | 2 |
| 1 | 60%以下 | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 9 |

| | 設問 | 2 | 3 |
|---|------------|---|---|
| 5 | 強くそう思う | 5 | 8 |
| 4 | ややそう思う | 3 | 1 |
| 3 | どちらともいえない | 1 | 0 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 |
| | 小計 | 9 | 9 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| | 設問 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|------------|---|---|---|---|---|---|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 5 | 4 | 5 | 6 | 6 | 1 | 7 | 5 |
| 4 | ややそう思う | 2 | 3 | 3 | 2 | 2 | 3 | 2 | 4 |
| 3 | どちらともいえない | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 0 | 0 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 |

| | | | | | | | |
|--|-------|----|----|-----|---------|-----------------------------|--|
| 授業科目 | 彫刻実技Ⅱ | | | 担当者 | 森北 伸 | | |
| 開講時期 | 前期 | 曜日 | 時限 | 1・2 | アンケート様式 | <input type="checkbox"/> 講義 | <input checked="" type="checkbox"/> 実習 |
| <p>1 この授業における教育方法の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一年生に引き続き基礎的な修練と彫刻素材（塑像・木彫・石）に対しての技術向上を目的に授業展開している。 <p>2 アンケート結果の所見</p> <p>(1) 受講した学生自身について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果を見る限り、おおむね良好と考えて良いと思う。 <p>(2) 授業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎技術の習得目的の授業なので、学生には技術・忍耐力が養われる反面、つまらなく感じてしまう危険性があり、それらのバランスを取るのが難しい。 今回は、おおむね成功と考えている。 ・質問3での結果には特に勇気づけられ、多種多様な彫刻素材に対する習得意欲が学生に感じられる。 <p>(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数制で個人に合わせた指導方法。 <p>(4) 自由記述より学生からの要望について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備に対しての要望が多く、早い改善を望む。 <p>3 今後の授業の工夫・改善（FD）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な授業内容が多いので、受講生が飽きないような授業運営をすること。 ・少人数制の利点を生かし、一人一人に合わせたディスカッションを大切にする。 <p>4 その他、意見</p> | | | | | | | |

科目 彫刻実技Ⅲ

担当 彫刻専攻

回答した学生 9名

受講登録者 9名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。
- 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| | 設問 | 1 |
|---|--------|---|
| 5 | 100% | 8 |
| 4 | 90%くらい | 0 |
| 3 | 80%くらい | 1 |
| 2 | 70%くらい | 0 |
| 1 | 60%以下 | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 9 |

| | 設問 | 2 | 3 |
|---|------------|---|---|
| 5 | 強くそう思う | 7 | 8 |
| 4 | ややそう思う | 2 | 1 |
| 3 | どちらともいえない | 0 | 0 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 |
| | 小計 | 9 | 9 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| | 設問 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|------------|---|---|---|---|---|---|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 4 | 6 | 6 | 5 | 5 | 4 | 5 | 7 |
| 4 | ややそう思う | 1 | 1 | 1 | 2 | 3 | 1 | 3 | 1 |
| 3 | どちらともいえない | 3 | 1 | 2 | 2 | 1 | 4 | 1 | 1 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 無回答 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 |

| | | | | | | |
|---|----------|----|--|-----|---------|--|
| 授業科目 | 彫刻実技Ⅲ | | | 担当者 | 土屋公雄 | |
| 開講時期 | 通年/午前・午後 | 曜日 | | 時限 | アンケート様式 | <input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習 |
| <p>1 この授業における教育方法の特徴</p> <p>1・2年次の基礎実技授業に加え、新たな実技授業における学習を通してより広範囲な表現に対応できる表現を養う。さらに表現がより社会にコミットメントするためにプロジェクト的要素も取り入れている。</p> <p>2 アンケート結果の所見</p> <p>(1) 受講した学生自身について</p> <p>この授業は、3年生となり様々な表現を身につける為に設定された授業であり、学生たちは各自が自由なテーマ・表現によって積極的に取り組んでいる様に思える。</p> <p>(2) 授業について</p> <p>1・2年次の基礎実技授業から開放された最初の授業のためか、学生の中には自由制作に戸惑う者もいるが、表現が如何に自己を開放することから始まるかは学生たちも認識しており、授業時間を重ねるたびに創造世界のダイナミズムを感じている様である。</p> <p>(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて</p> <p>ほぼ全員の学生が、授業後積極的に自由制作に取り組み、この授業への関心は非常に強いものと思われる。4年次の卒業制作でも、この授業が作品制作の切掛け・動機となっているものが多く、場所と作品の関係性を考えるトレーニングになっている。</p> <p>(4) 自由記述より学生からの要望について</p> <p>施設の老朽化、冷暖房が時間によって切れてしまうことへの不満は常に出ている。</p> <p>3 今後の授業の工夫・改善 (FD)</p> <p>授業内容は今後も変更せず継続するつもりである。 ただ造形表現は多様化しているため、設備としてPC環境を整え、プレゼンテーションの為にキャド授業も展開していきたい。</p> <p>4 その他、意見</p> | | | | | | |

科目 彫刻実技Ⅳ

担当 彫刻専攻

回答した学生 10名

受講登録者 11名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。
- 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| 設問 | 1 |
|----------|----|
| 5 100% | 2 |
| 4 90%くらい | 3 |
| 3 80%くらい | 2 |
| 2 70%くらい | 3 |
| 1 60%以下 | 0 |
| 無回答 | 0 |
| 小計 | 10 |

| 設問 | 2 | 3 |
|--------------|----|----|
| 5 強くそう思う | 6 | 7 |
| 4 ややそう思う | 3 | 3 |
| 3 どちらともいえない | 0 | 0 |
| 2 あまりそう思わない | 1 | 0 |
| 1 まったくそう思わない | 0 | 0 |
| 無回答 | 0 | 0 |
| 小計 | 10 | 10 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| 設問 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|--------------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 5 強くそう思う | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 3 | 4 |
| 4 ややそう思う | 3 | 6 | 2 | 4 | 4 | 2 | 5 | 4 |
| 3 どちらともいえない | 3 | 3 | 4 | 2 | 4 | 5 | 2 | 1 |
| 2 あまりそう思わない | 4 | 0 | 3 | 3 | 2 | 2 | 0 | 1 |
| 1 まったくそう思わない | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 小計 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |

| | | | | | | | |
|------|--------|----|----|-----|-----------|-----------------------------|--|
| 授業科目 | 彫刻実技IV | | | 担当者 | 大塚道男・神田每実 | | |
| 開講時期 | 前期 | 曜日 | 時限 | 1・2 | アンケート様式 | <input type="checkbox"/> 講義 | <input checked="" type="checkbox"/> 実習 |

1 この授業における教育方法の特徴

1年から3年次において、基礎・応用と段階を踏んで積み上げてきた学習と研究を、各自の定めた独自の研究テーマへと自力で結び付けていく中で、造形家としての実力を養っていく事の特徴としている。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

自身の制作に関しての計画力が十分でないと思われる。また、計画力と実行力はバランスが取れていないと十分に機能をしないので、その双方を訓練していく事が必要になるが、3年次においても、「課題」として具体的な目標を与えた場合にはそれなりの対応を出来るのであることから、自主的な、もしくは、各自の具体的な目標となる表現を確実につかませる工夫が必要になってくる。

(2) 授業について

授業自体は、自由課題による制作であるための、目標、もしくは、造形のテーマがはっきりしていればそれほど難しいものではないと考える。この授業への取り組みと課題の成果から、各学生への個別の対応が始まるのであるが、今後はこの授業の始まりに、突っ込んだ個別の対応が必要になってくる可能性が高い。また、概念的な思考とバランスのとれた造形力が養われなければ、実際に現実のイメージとして提示が出来ないのであるから、この点に関して、4年進級時においては一定以上の力量が準備されるような取り組みが、必要と考える。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

授業で扱った内容に関しての、興味や関心が高まるのは、この授業が基本的には個人のテーマを重視するからであるため、至極当然なことであるのだが、問題は、各自の思考がどこまで深まったかということであろう。はたして、この記述がこの質問に関する回答として適正であるか否かは定かでないが、学生が良かったとして評価していることに関する、評価の妥当性と根拠に関して冷静に判定を下すための努力が必要と考える。

(4) 自由記述より学生からの要望について

教員の毎週のスケジュールに関して何らかのアナウンスが必要であるとしても、昨今の過密スケジュールにより、オフィスアワー自体が設定できない状況を何らかの方法で打開することなしで事態はなかなか進展を見ないのではないかと考える。ならば、授業形態の見直しを図られなければならないわけであるが、一方では、多様化する表現方法に関する対応も急務であり、例えば Project 系の授業の創出による、総合的な教育方法を用いて、実践力を養うことを考えることも重要である。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

設問2- (4) にも記したように、基礎課程の終了を待って、総合的な Project 系のプログラムを配置することで、計画力・実践力などを総合的に高めていく手法に関して、検討を進める必要があるとかもしれないと考える。

個別対応のメリットと重要性は、いまさら主張することでもないと考えられるが、表現の多様化に対応しながら、尚且つ、質の高い表現を目指すとなれば、限られた時間の中にいかに効率よく効果的な指導が行えるかについて考えるか、もしくは、指導で対応する 表現方法 を絞り込んで 狭く深く してしまうしかないように思われる。いずれにしても、何らかの方法で、高密度な授業を組み合わせることと、テーマ等を文字化してディスカッションを行う手法によって徹底的に明確化していくことを重ねていくことを手助けとして、集中した思考の時間と集中した制作の時間を生み出すことが重要だと考える。

4 その他、意見

例えば資格に関わる授業の増大は、ゆったりとした学内での制作の時間の減少を生み出した。主に、3年次4年次の専門課程の展開が応用に入る時期からこのことが起こり始めることについての、何らかの制度的な対応を必要とするように考える。例えば、かつての2年次までに一定以上の教養課程の単位の取得を義務化する等の制度の再考なども必要となってくるかもしれない。

科目 彫刻実技Ⅳ（後期実施）

担当 神田 每実

回答した学生 8名

受講登録者 11名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。
- 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| | 設問 | 1 |
|---|--------|---|
| 5 | 100% | 6 |
| 4 | 90%くらい | 2 |
| 3 | 80%くらい | 0 |
| 2 | 70%くらい | 0 |
| 1 | 60%以下 | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 8 |

| | 設問 | 2 | 3 |
|---|------------|---|---|
| 5 | 強くそう思う | 5 | 6 |
| 4 | ややそう思う | 3 | 1 |
| 3 | どちらともいえない | 0 | 1 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 |
| | 小計 | 8 | 8 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| | 設問 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|------------|---|---|---|---|---|---|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 3 | 4 | 2 | 5 | 5 | 5 | 4 | 6 |
| 4 | ややそう思う | 4 | 1 | 3 | 1 | 3 | 0 | 4 | 1 |
| 3 | どちらともいえない | 0 | 3 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 2 | あまりそう思わない | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 |

科目 芸術学基礎実技 I A

担当 小西 信之

回答した学生 3 名

受講登録者 5 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。
- 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| | 設問 | 1 |
|---|--------|---|
| 5 | 100% | 0 |
| 4 | 90%くらい | 1 |
| 3 | 80%くらい | 1 |
| 2 | 70%くらい | 1 |
| 1 | 60%以下 | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 3 |

| | 設問 | 2 | 3 |
|---|------------|---|---|
| 5 | 強くそう思う | 2 | 2 |
| 4 | ややそう思う | 1 | 1 |
| 3 | どちらともいえない | 0 | 0 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 |
| | 小計 | 3 | 3 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| | 設問 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|------------|---|---|---|---|---|---|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 0 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 | 3 |
| 4 | ややそう思う | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 0 |
| 3 | どちらともいえない | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |

科目 芸術学基礎実技ⅠB

担当 小西 信之

回答した学生 3名

受講登録者 4名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。
- 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| | 設問 | 1 |
|---|--------|---|
| 5 | 100% | 0 |
| 4 | 90%くらい | 1 |
| 3 | 80%くらい | 1 |
| 2 | 70%くらい | 1 |
| 1 | 60%以下 | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 3 |

| | 設問 | 2 | 3 |
|---|------------|---|---|
| 5 | 強くそう思う | 2 | 3 |
| 4 | ややそう思う | 0 | 0 |
| 3 | どちらともいえない | 1 | 0 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 |
| | 小計 | 3 | 3 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| | 設問 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|------------|---|---|---|---|---|---|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 0 | 1 | 2 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 4 | ややそう思う | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 3 | どちらともいえない | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |

| | | | | | | | |
|------|-------------|----|---------|----|-----|-----------|--|
| 授業科目 | 芸術学基礎実技 I B | | | | 担当者 | 森田義之・小西信之 | |
| 開講時期 | 2011 年後期 | 曜日 | 月、火、木、金 | 時限 | 1～2 | アンケート様式 | <input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習 |

1 この授業における教育方法の特徴

芸術学基礎実技 I B は、I A の「素描・油彩・彫塑」に続いて、「古典造形実習 I、日本画 I（彩色模写）、現代アート実習 I、II（写真）」を行う。「古典造形実習 I」では仏像修復家の横川耕介氏の指導で古典的仏像彫刻の基礎を、「日本画 I（白描模写）」では日本画における墨を用いた白描の基礎を、本学日本画専攻の先生から直接学ぶ。「現代アート実習 I、II（写真）」では、デジタルカメラを用いて写真を撮影しパソコンで編集してブックレットをつくる等、写真作品制作の基礎を現代美術作家の佐藤克久先生から学ぶ。芸術学の基礎実技は多様な技法を体験することを通して、芸術作品の理解を深めようとするものである。しかもそれぞれの分野の専門家にそれぞれ指導を受けている。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

出席は 68%が、8 割の出席で、意欲的に取り組んだとする学生が 67%、授業を受けた後で扱われた内容への関心が高まったと思うかに対しては、100%が強くそう思うと答えている。全体に良いかたちで受講していると思われる。

(2) 授業について

「専門能力の向上に役立ったか」に対しては 100%がそう思うと答え、「良い授業であったか」を問う総合評価では「よい」の評価がトータル 100%だった。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

- ・改めて自分を見つめ直す良い機会となりました。

(4) 自由記述より学生からの要望について

- ・記述なし。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

・オムニバス形式の授業はどうしてもひとつひとつの授業内容がダイジェスト的なものになる。一方で芸術学の学生の多様な方向性をカバーするためには仕方のない部分もある。運営を含め、今後の課題である。

4 その他、意見

教室が寒い。

科目 芸術学基礎実技ⅡA

担当 小西 信之

回答した学生 6名

受講登録者 6名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。
- 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| | 設問 | 1 |
|---|--------|---|
| 5 | 100% | 2 |
| 4 | 90%くらい | 2 |
| 3 | 80%くらい | 1 |
| 2 | 70%くらい | 1 |
| 1 | 60%以下 | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 6 |

| | 設問 | 2 | 3 |
|---|------------|---|---|
| 5 | 強くそう思う | 3 | 4 |
| 4 | ややそう思う | 2 | 2 |
| 3 | どちらともいえない | 1 | 0 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 |
| | 小計 | 6 | 6 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| | 設問 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|------------|---|---|---|---|---|---|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 2 | 4 | 4 | 3 | 3 | 3 | 4 | 4 |
| 4 | ややそう思う | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 0 | 1 |
| 3 | どちらともいえない | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 |

科目 芸術学基礎実技ⅡB

担当 小西 信之

回答した学生 5名

受講登録者 6名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。
- 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| | 設問 | 1 |
|---|--------|---|
| 5 | 100% | 1 |
| 4 | 90%くらい | 2 |
| 3 | 80%くらい | 1 |
| 2 | 70%くらい | 1 |
| 1 | 60%以下 | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 5 |

| | 設問 | 2 | 3 |
|---|------------|---|---|
| 5 | 強くそう思う | 1 | 1 |
| 4 | ややそう思う | 2 | 1 |
| 3 | どちらともいえない | 0 | 1 |
| 2 | あまりそう思わない | 1 | 1 |
| 1 | まったくそう思わない | 1 | 1 |
| | 無回答 | 0 | 0 |
| | 小計 | 5 | 5 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| | 設問 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|------------|---|---|---|---|---|---|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 2 | 3 | 2 | 2 | 2 | 3 | 2 | 2 |
| 4 | ややそう思う | 0 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 |
| 3 | どちらともいえない | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 |
| | 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 |

| | | | | | | | |
|------|-----------|----|---------|-----|-----------|---------|--|
| 授業科目 | 芸術学基礎実技ⅡB | | | 担当者 | 森田義之・小西信之 | | |
| 開講時期 | 2011年後期 | 曜日 | 月、火、木、金 | 時限 | 1～2 | アンケート様式 | <input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習 |

1 この授業における教育方法の特徴

芸術学基礎実技ⅡBは、ⅡAの「素描・油彩」に続いて、「古典造形実習Ⅱ、日本画Ⅱ（彩色模写）、現代アート実習Ⅲ、Ⅳ（映像）」を行う。「古典造形実習Ⅱ」では仏像修復家の横川耕介氏の指導で古典的仏像彫刻の基礎を、「日本画Ⅱ（彩色模写）」では日本画における顔料を用いた彩色の基礎を、本学日本画専攻の先生から直接学ぶ。「現代アート実習Ⅲ、Ⅳ（映像）」では、ビデオカメラを用いて映像を撮影しパソコンで編集、映像作品制作の基礎を映像作家の山本高之先生から学ぶ。芸術学の基礎実技は多様な技法を体験することを通して、芸術作品の理解を深めようとするものである。しかもそれぞれの分野の専門家にそれぞれ指導を受けている。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

出席は80%が、8割の出席で、意欲的に取り組んだとする学生が80%、全体に良いかたちで受講していると思われる。

(2) 授業について

「専門能力の向上に役立ったか」に対しては80%がそう思うと答え、「良い授業であったか」を問う総合評価では「よい」の評価がトータル60%だった。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

記述はなしであった。

(4) 自由記述より学生からの要望について

・内容だけで言えば家で技法書を読んでいけばよいというものもあった。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

・オムニバス形式の授業はどうしてもひとつひとつの授業内容がダイジェスト的なものになる。一方で芸術学の学生の多様な方向性をカバーするためには仕方のない部分もある。運営を含め、今後の課題である。

4 その他、意見

教室が寒い。

科目 美学特講 I

担当 中 敬夫

回答した学生 4 名

受講登録者 6 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| 設問 | | 1 |
|----|--------|---|
| 5 | 100% | 0 |
| 4 | 90%くらい | 1 |
| 3 | 80%くらい | 2 |
| 2 | 70%くらい | 1 |
| 1 | 60%以下 | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| 小計 | | 4 |

| 設問 | | 2 | 3 |
|----|------------|---|---|
| 5 | 強くそう思う | 3 | 2 |
| 4 | ややそう思う | 1 | 2 |
| 3 | どちらともいえない | 0 | 0 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 |
| 小計 | | 4 | 4 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

| 設問 | | 4 |
|----|------------|---|
| 5 | 強くそう思う | 3 |
| 4 | ややそう思う | 1 |
| 3 | どちらともいえない | 0 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| 小計 | | 4 |

| 設問 | | 5 |
|----|------------|---|
| 5 | ほぼ時間どおり | 4 |
| 4 | 延長することが多い | 0 |
| 3 | 開始が遅いことが多い | 0 |
| 2 | 早く終わることが多い | 0 |
| 1 | よくわからない | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| 小計 | | 4 |

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| 設問 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | |
|----|------------|---|---|---|----|----|----|---|
| 5 | 強くそう思う | 4 | 2 | 4 | 4 | 3 | 2 | 4 |
| 4 | ややそう思う | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 |
| 3 | どちらともいえない | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 小計 | | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |

| | | | | | | | |
|------|--------|----|---|-----|------|---------|--|
| 授業科目 | 美学特講 I | | | 担当者 | 中 敬夫 | | |
| 開講時期 | 前期 | 曜日 | 水 | 時限 | 4 | アンケート様式 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 |

1 この授業における教育方法の特徴

本年度の「美学特講 I」のテーマは「前期西田幾多郎の哲学と美学思想」であり、授業の目的は、西田幾多郎の前期思想のなかから、その哲学ならびに美学思想・芸術論を学んでゆくことによって、哲学に基づいた美学的な考え方の基礎を身につけることである。

授業の工夫点として、毎回授業の内容を要約したプリントを配って、授業の効率化を図り、またそのプリントの裏には、関連するテキストからの抜粋をコピーして、学生が原典に関心を持てるようにしている。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

出席率に関しては、「100%」がなく、「90%くらい」が1人、「80%くらい」が2人、「70%くらい」が1人。6人の受講生のうち、当日回答が4名だったが、残りのうち1名は「80%くらい」だろう。もう1名は、結局一回も出なかった。

授業に意欲的に取り組んだかという質問に関しては、「強くそう思う」「ややそう思う」の回答のみ。

授業内容への関心が高まったか否かに関しても、「強くそう思う」「ややそう思う」の回答のみ。出席者は真面目だったと思う。

(2) 授業について

「シラバス」「授業時間」「話し方」「板書やプリント」「説明の仕方」「準備や熱心さ」「コミュニケーション」「教室・設備」「授業全般」に関する質問では、「強くそう思う」「ややそう思う」の回答がほとんどだった。少人数だったので、特に問題もなく、授業は比較的スムーズに行われたように思う。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

「少人数でくわしく授業の対象に取り組むことができた」、「生徒と教員のコミュニケーションがよくとれていた授業だと思う」、「あらためて美に対しての言葉について考えることができた」、「教員が生徒とちゃんとコミュニケーションを取れる授業にするため配慮してくれた」といった意見があった。

(4) 自由記述より学生からの要望について

特になかった。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

多人数の「美学A」に比べ、圧倒的に評価が高かったのは、少人数のおかげかもしれない。今後ともこのペースでゆきたいと思う。

4 その他、意見

受講届けを出したのは6名だが、実際の出席者は5名だけだった。これくらいの少人数だと、授業がインテリミットになって良いのだが、その分、アンケートを行ってもあまり意味がない——アンケートをしなくても、学生の思っていることは、大体わかる——ような気がする。

科目 芸術学総合研究 I

担当 中 敬夫

回答した学生 2 名

受講登録者 4 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。
- 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| | 設問 | 1 |
|---|--------|---|
| 5 | 100% | 1 |
| 4 | 90%くらい | 1 |
| 3 | 80%くらい | 0 |
| 2 | 70%くらい | 0 |
| 1 | 60%以下 | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 2 |

| | 設問 | 2 | 3 |
|---|------------|---|---|
| 5 | 強くそう思う | 1 | 2 |
| 4 | ややそう思う | 1 | 0 |
| 3 | どちらともいえない | 0 | 0 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 |
| | 小計 | 2 | 2 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| | 設問 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|------------|---|---|---|---|---|---|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 |
| 4 | ややそう思う | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 3 | どちらともいえない | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 2 | あまりそう思わない | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |

| | | | | | | | | |
|--|-----------|----|---|----|-----|-----------|-----------------------------|--|
| 授業科目 | 芸術学総合研究 I | | | | 担当者 | 芸術学専攻教員全員 | | |
| 開講時期 | 通年 | 曜日 | 水 | 時限 | 6 | アンケート様式 | <input type="checkbox"/> 講義 | <input checked="" type="checkbox"/> 実習 |
| 1 この授業における教育方法の特徴 1) 本授業のねらい (授業の目的) 前期は、芸術学専攻の1年生を対象に、美術史、文化財学、美学、現代アート論の学び方を指導するとともに、基礎文献のガイダンスを行う。 後期は、1～3年次共通の授業とし、各自の関心に応じて、芸術家を1人選び、その作品と芸術について口頭で発表する(レポート提出)。 (到達目標) ・美術史・美術理論についての初歩的全体像をつかむ。 ・関心ある美術家について調べ、作品を言語化する経験をつむ。 2) 本授業における教育方法の工夫点 イ) 学生の口頭発表に際しては、教室に「デジタル・プロジェクター&プレゼンター」や「ビデオモニター」等の設備を揃え、学生が具体的に画像を示しながら発表し、聴講者も視覚的に理解できるように工夫している。 ロ) ガイダンスに関しては、各教員がフェイス・トゥ・フェイスというかたちで、懇切丁寧に説明を行っている。研究発表に際しては、当該学生が発表内容に関するレジュメを作成して配布し、聴講する教員や学生の理解が容易になるよう工夫している。また学生が発表する前にも、教員が発表内容やそのレジュメに関して事前に相談を受け、具体的なアドバイスをを行っている。 ハ) 研究発表自体、学生が自主的に選択したテーマに沿って行われている。また発表後にも、教員や学生が活発な質疑応答を行い、発表者のみならず学生全員が美術に対する関心を深め、さらには理路整然と自らの意見を述べる訓練ともなるように工夫している。 2 アンケート結果の所見 (1) 受講した学生自身について ・受講生4名のうち回答は2名で、出席は100%と90%くらいが1名ずつ、取り組みは意欲的とやや意欲的が1名ずつ、興味関心は強く高まったが2名という内容だった。 (2) 授業について ・授業全般についての評価は高かったが、「シラバス」に関しては、あまり役に立たなかったという回答もあった。 (3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて ・特になかった。 (4) 自由記述より学生からの要望について ・特になかった。 3 今後の授業の工夫・改善 (FD) ・「シラバス」を紙媒体で配布するのではなく、インターネットを用いて大学のホームページから読むようなシステムに移行してから、ちゃんと「シラバス」が読めないという不満が増え、今年度も例外ではなかった。「シラバス」は授業案内の根幹であり、大学の顔とも言えるようなものなので、もう一度紙媒体に戻して、学生全員に配るべきだと思う。 ・授業の出欠調査に関しては、忘れることが多いので、注意してゆきたい(これは共通授業として同じ授業に参加している他学年の学生からの要望)。 ・本年度は特に西洋美術史の教員の健康上の理由から、前期に十分な指導体制が取ることができなかったので、学生の不安や不満があったようだが(これも共通授業として同じ授業に参加している他学年の学生からの要望)、来年度からは元の状態に近づくことが出来ると思われる。 4 その他、意見 ・少人数なので、それほどアンケートは有効でなかったかもしれない。 | | | | | | | | |

科目 芸術学総合研究Ⅱ

担当 中 敬夫

回答した学生 5名

受講登録者 6名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。
- 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| | 設問 | 1 |
|---|--------|---|
| 5 | 100% | 4 |
| 4 | 90%くらい | 1 |
| 3 | 80%くらい | 0 |
| 2 | 70%くらい | 0 |
| 1 | 60%以下 | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 5 |

| | 設問 | 2 | 3 |
|---|------------|---|---|
| 5 | 強くそう思う | 3 | 3 |
| 4 | ややそう思う | 1 | 1 |
| 3 | どちらともいえない | 1 | 1 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 |
| | 小計 | 5 | 5 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| | 設問 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|------------|---|---|---|---|---|---|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 2 | 5 | 3 | 3 | 3 | 2 | 3 | 2 |
| 4 | ややそう思う | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| 3 | どちらともいえない | 1 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 2 | あまりそう思わない | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 |
| 1 | まったくそう思わない | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 |

| | | | | | | | | |
|------|----------|----|---|----|-----|-----------|-----------------------------|--|
| 授業科目 | 芸術学総合研究Ⅱ | | | | 担当者 | 芸術学専攻教員全員 | | |
| 開講時期 | 通年 | 曜日 | 水 | 時限 | 6 | アンケート様式 | <input type="checkbox"/> 講義 | <input checked="" type="checkbox"/> 実習 |

1 この授業における教育方法の特徴

1) 本授業のねらい

〈授業の目的〉

前期は、芸術学専攻2年生を対象に、各学生の関心に応じて、芸術学の諸分野に関する基本文献の熟読を課し、その成果を提出させる。また芸術学専攻発行の研究雑誌の企画・執筆・編集作業にあてる。後期は、1～3年次共通の授業とし、各自の関心に応じて、芸術家を1人選び、その作品と芸術について口頭で発表する（レポート提出）。

〈到達目標〉

- ・美術史・美術理論に関する基本的な文献について幅広く見わたす能力を身につける。
- ・専門の書を精読する訓練をつみ、読解力を深める。
- ・文献の内容を的確に要約する能力を身につける。

2) 本授業における教育方法の工夫点

- イ) 学生の口頭発表に際しては、教室に「デジタル・プロジェクター&プレゼンター」や「ビデオモニター」等の設備を揃え、学生が具体的に画像を示しながら発表し、聴講者も視覚的に理解できるように工夫している。また研究雑誌の企画・執筆・編集の作業に関しては、学生用のパソコンを配備している。
- ロ) 研究雑誌の企画・執筆・編集の作業に関しては、教員も積極的に助言している。研究発表に際しては、当該学生が発表内容に関するレジメを作成して配布し、聴講する教員や学生の理解が容易になるよう工夫している。また学生が発表する前にも、教員が発表内容やそのレジメに関して事前に相談を受け、具体的なアドバイスをを行っている。
- ハ) 研究雑誌に関する作業は、基本的には学生が自発的に企画・執筆・編集するものである。また研究発表自体、学生が自主的に選択したテーマに沿って行われている。発表後にも、教員や学生が活発な質疑応答を行い、発表者のみならず学生全員が美術に対する関心を深め、さらには理路整然と自らの意見を述べる訓練ともなるように工夫している。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

- ・受講生6名のうち回答は5名で、出席は100%が4名と90%くらいが1名、取り組みは意欲的が3名、やや意欲的が1名、どちらともいえないが1名、興味関心も取り組みと同様という結果だった。

(2) 授業について

- ・授業全般に関しては、評価するものが多かったが、なかに「あまりそう思わない」という回答もあった。特に不満が目立ったのは、「シラバス」や「適切な指導」「教室・設備」に関するものだった。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

- ・特になかった。

(4) 自由記述より学生からの要望について

- ・「出欠を毎回とってほしい」という意見があった。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

- ・「シラバス」を紙媒体で配布するのではなく、インターネットを用いて大学のホームページから読むようなシステムに移行してから、ちゃんと「シラバス」が読めないという不満が増え、今年度も例外ではなかった。「シラバス」は授業案内の根幹であり、大学の顔とも言えるようなものなので、もう一度紙媒体に戻して、学生全員に配るべきだと思う。
- ・授業の出欠調査に関しては、授業の多忙にかまけて忘れることが多いので、注意してゆきたい。
- ・本年度は特に西洋美術史の教員の健康上の理由から、前期に十分な指導体制が取ることができなかったため、学生の不安や不満があったようだが、来年度からは元の状態に近づくことが出来ると思われる。

4 その他、意見

- ・少人数なので、それほどアンケートは有効でなかったかもしれない。

科目 芸術学総合研究Ⅲ

担当 中 敬夫

回答した学生 5名

受講登録者 5名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。
- 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| 設問 | | 1 |
|----|--------|---|
| 5 | 100% | 3 |
| 4 | 90%くらい | 1 |
| 3 | 80%くらい | 1 |
| 2 | 70%くらい | 0 |
| 1 | 60%以下 | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| 小計 | | 5 |

| 設問 | | 2 | 3 |
|----|------------|---|---|
| 5 | 強くそう思う | 3 | 3 |
| 4 | ややそう思う | 1 | 2 |
| 3 | どちらともいえない | 1 | 0 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 |
| 小計 | | 5 | 5 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| 設問 | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|----|------------|---|---|---|---|---|---|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 0 | 2 | 3 | 1 | 1 | 0 | 3 | 3 |
| 4 | ややそう思う | 1 | 1 | 1 | 2 | 3 | 4 | 2 | 1 |
| 3 | どちらともいえない | 4 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 1 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 小計 | | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 |

| 授業科目 | 芸術学総合研究Ⅲ | | | | 担当者 | 芸術学専攻教員全員 | |
|--|----------|----|---|----|-----|-----------|--|
| 開講時期 | 通年 | 曜日 | 水 | 時限 | 6 | アンケート様式 | <input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習 |
| 1 この授業における教育方法の特徴 | | | | | | | |
| 1) 本授業のねらい 〈授業の目的〉 前期は、芸術学専攻発行の研究雑誌の企画・執筆・編集の作業にあてる。 後期は1～3年次共通授業とし、研究の内容を各自1回口頭発表する。 前期・後期を通して、文献課題研究（自由選択3冊以上）を行う。 〈到達目標〉 ・研究雑誌の編集と制作を通じて、文字による客観的な伝達と表現の方法を理解することができる。 ・幅広い読書を通じて、美術に関する知見を広げ、文献の内容を的確に要約する能力を身につけることができる。 | | | | | | | |
| 2) 本授業における教育方法の工夫点 イ) 学生の口頭発表に際しては、教室に「デジタル・プロジェクター&プレゼンター」や「ビデオモニター」等の設備を揃え、学生が具体的に画像を示しながら発表し、聴講者も視覚的に理解できるように工夫している。また研究雑誌の企画・執筆・編集の作業に関しては、学生用のパソコンを配備している。 ロ) 研究雑誌の企画・執筆・編集の作業に関しては、教員も積極的に助言している。研究発表に際しては、当該学生が発表内容に関するレジュメを作成して配布し、聴講する教員や学生の理解が容易になるよう工夫している。また学生が発表する前にも、指導教員が発表内容やそのレジュメに関して事前に相談を受け、具体的なアドバイスをを行っている。 ハ) 研究雑誌に関する作業は、基本的には学生が自発的に企画・執筆・編集するものである。また研究発表自体、学生が自主的に選択したテーマに沿って行われている。発表後にも、教員や学生が活発な質疑応答を行い、発表者のみならず学生全員が美術に対する関心を深め、さらには理路整然と自らの意見を述べる訓練ともなるように工夫している。 | | | | | | | |
| 2 アンケート結果の所見 | | | | | | | |
| (1) 受講した学生自身について ・受講生5名の回答のうち、出席は100%が3名、90%くらいと80%くらいが各1名、取り組みは意欲的が3名、やや意欲的とどちらともいえないが各1名、興味関心は強く高まったが3名、やや高まったが2名という回答だった。 | | | | | | | |
| (2) 授業について ・授業全般については評価するものが多かったが、「シラバス」に関しては「どちらともいえない」が圧倒的に多く、また「授業時間」「教員とのコミュニケーション」に関しても「どちらともいえない」が多かった。 | | | | | | | |
| (3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて ・特になかった。 | | | | | | | |
| (4) 自由記述より学生からの要望について ・特になかった。 | | | | | | | |
| 3 今後の授業の工夫・改善（FD） | | | | | | | |
| ・「シラバス」を紙媒体で配布するのではなく、インターネットを用いて大学のホームページから読むようなシステムに移行してから、ちゃんと「シラバス」が読めないという不満が増え、今年度も例外ではなかった。「シラバス」は授業案内の根幹であり、大学の顔とも言えるようなものなので、もう一度紙媒体に戻して、学生全員に配るべきだと思う。 ・授業の出欠調査に関しては、忘れることが多いので、注意してゆきたい（他学年からの指摘）。 ・本年度は特に西洋美術史の教員の健康上の理由から前期に十分な指導体制が取ることができなかったので、学生の不安や不満があったようだが、来年度からは元の状態に近づくことが出来ると思われる。 | | | | | | | |
| 4 その他、意見 | | | | | | | |
| ・少人数なので、それほどアンケートは有効でなかったかもしれない。 | | | | | | | |

科目 日本美術史特講Ⅱ

担当 熊田 由美子

回答した学生 13名

受講登録者 19名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| 設問 | 1 |
|----------|----|
| 5 100% | 5 |
| 4 90%くらい | 5 |
| 3 80%くらい | 3 |
| 2 70%くらい | 0 |
| 1 60%以下 | 0 |
| 無回答 | 0 |
| 小計 | 13 |

| 設問 | 2 | 3 |
|--------------|----|----|
| 5 強くそう思う | 1 | 4 |
| 4 ややそう思う | 6 | 4 |
| 3 どちらともいえない | 5 | 3 |
| 2 あまりそう思わない | 1 | 2 |
| 1 まったくそう思わない | 0 | 0 |
| 無回答 | 0 | 0 |
| 小計 | 13 | 13 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

| 設問 | 4 |
|--------------|----|
| 5 強くそう思う | 3 |
| 4 ややそう思う | 0 |
| 3 どちらともいえない | 8 |
| 2 あまりそう思わない | 2 |
| 1 まったくそう思わない | 0 |
| 無回答 | 0 |
| 小計 | 13 |

| 設問 | 5 |
|--------------|----|
| 5 ほぼ時間どおり | 8 |
| 4 延長することが多い | 4 |
| 3 開始が遅いことが多い | 0 |
| 2 早く終わることが多い | 1 |
| 1 よくわからない | 0 |
| 無回答 | 0 |
| 小計 | 13 |

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| 設問 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|--------------|----|----|----|----|----|----|----|
| 5 強くそう思う | 6 | 4 | 5 | 9 | 2 | 7 | 4 |
| 4 ややそう思う | 3 | 5 | 4 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3 どちらともいえない | 3 | 2 | 1 | 2 | 5 | 2 | 4 |
| 2 あまりそう思わない | 1 | 2 | 3 | 0 | 3 | 0 | 0 |
| 1 まったくそう思わない | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 小計 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 |

| | | | | | | | |
|------|----------|----|---|----|-----|---------|--|
| 授業科目 | 日本美術史特講Ⅱ | | | | 担当者 | 熊田 由美子 | |
| 開講時期 | 前期 | 曜日 | 水 | 時限 | 4 | アンケート様式 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 |

1 この授業における教育方法の特徴

日本彫刻史における古代から中世の仏師について、その作品・事績、伝記資料、施主関係、造像の背景、技術を現在の研究水準において明らかにする。多くのパワーポイント図版および映像資料を用いる。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

出席100～80%以上が100パーセント。意欲的取り組みが約半数、関心・意欲を高めた（回答5.4）は約60パーセント。

(2) 授業について

約80%は準備と熱意を認め、約70%がよい授業との評価。他項目も約80パーセントが5・4評価であるが、コミュニケーション項は40%弱に落ちる。講義形式の専門授業のため、毎回質問票を配布し、質問には答えてきたがコミュニケーション方法とは認識されていないようである。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

仏師の話が楽しかったこと。部屋の大きさがほどよく、画像モニターが見やすかったこと。

(4) 自由記述より学生からの要望について

終了時刻を少し早めてほしい（次の授業に遅れることが多いので）。おおづかみの日本史とからめてもらおうとわかりやすくなると思う。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

特講は専門授業なので、日本史や美術史概説を既習していることを前提に話しているが、他専攻の学生は必ずしもそうした課程をへていないので、そのギャップがあるように思われる。学芸員資格取得科目として履修される場合もあるので、その点の配慮が必要であることに気付かされた。本講義は、むしろ作品・作者を通して時代をみるのが主眼であるが、副読本や参考書併用で歴史的理解をより深められるように工夫したい。

4 その他、意見

科目 日本美術史概説A

担当 熊田 由美子

回答した学生 61名

受講登録者 74名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| | 設問 | 1 |
|---|--------|----|
| 5 | 100% | 29 |
| 4 | 90%くらい | 18 |
| 3 | 80%くらい | 8 |
| 2 | 70%くらい | 5 |
| 1 | 60%以下 | 1 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 61 |

| | 設問 | 2 | 3 |
|---|------------|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 5 | 9 |
| 4 | ややそう思う | 20 | 28 |
| 3 | どちらともいえない | 28 | 21 |
| 2 | あまりそう思わない | 4 | 2 |
| 1 | まったくそう思わない | 4 | 1 |
| | 無回答 | 0 | 0 |
| | 小計 | 61 | 61 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

| | 設問 | 4 |
|---|------------|----|
| 5 | 強くそう思う | 4 |
| 4 | ややそう思う | 15 |
| 3 | どちらともいえない | 22 |
| 2 | あまりそう思わない | 13 |
| 1 | まったくそう思わない | 7 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 61 |

| | 設問 | 5 |
|---|------------|----|
| 5 | ほぼ時間どおり | 42 |
| 4 | 延長することが多い | 14 |
| 3 | 開始が遅いことが多い | 2 |
| 2 | 早く終わることが多い | 1 |
| 1 | よくわからない | 2 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 61 |

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| | 設問 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|---|------------|----|----|----|----|----|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 9 | 10 | 6 | 28 | 4 | 22 | 7 |
| 4 | ややそう思う | 10 | 18 | 18 | 22 | 7 | 21 | 26 |
| 3 | どちらともいえない | 17 | 22 | 20 | 8 | 28 | 18 | 17 |
| 2 | あまりそう思わない | 14 | 6 | 10 | 3 | 11 | 0 | 9 |
| 1 | まったくそう思わない | 11 | 5 | 7 | 0 | 11 | 0 | 2 |
| | 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 61 | 61 | 61 | 61 | 61 | 61 | 61 |

| | | | | | | | |
|------|----------|----|---|-----|--------|---------|--|
| 授業科目 | 日本美術史概説A | | | 担当者 | 熊田 由美子 | | |
| 開講時期 | 前期 | 曜日 | 火 | 時限 | 4 | アンケート様式 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 |

1 この授業における教育方法の特徴

原始・古代から中世初頭に至る歴史上の主要な作品について、その生まれた土壌、社会的環境、作者、作品の技術的芸術的特徴と意味解釈、歴史的意義を、視覚教材を多用しつつ明らかにする。課題を通して、美術についての視野を拡げ、「創造活動」の歴史的意味を考える力を養う。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

出席80～100%が90%。意欲的に取り組み（回答5・4）が約40%、関心・意欲を高めた（回答5・4）が約60%。学生の授業への取り組み方はやや積極性を欠き、関心・意欲を覚醒させる工夫がさらに必要かと思われる。

(2) 授業について

授業への準備と熱意は約80パーセントが認めているが、理解度は約半数。話のスピード、コミュニケーション評価が低いのは、たぶんに早口で、シラバスに即した授業進捗で進めすぎるからであろう。その欠点を補うために、毎回、質問票を回収しそれには答えてきたが、コミュニケーション方法とは認識されていないようだ。平易化とゆっくりとした語りが必要か。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

映像資料や、パワーポイントによる写真提示が活用されていること。資料がわかりやすいこと。

(4) 自由記述より学生からの要望について

マイクの音声がとても聞き取りにくいので調整と確認をとという要望が多い。電池不足の時間がまあり、教室規模に対してのマイク精度に問題があると思われる。教卓設置型も必要ではないか（私見）。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

日本史の通史を十分に学んでこなかった学生も多いなかで、専門レベルの日本美術史を語ることへのギャップを埋める工夫が必要であろう。あまりシラバス進度にとらわれず、簡明な語り口と学生の自学自習意欲を促す工夫を心がけたい。

4 その他、意見

視覚の仕事にたずさわる分野の学生が多い本校において、新講義棟の視聴覚設備とくにプロジェクターの精度はあまりに低くお粗末である。芸術学修士棟クラスのプロジェクターと実体投影機設備が早急に必要である。

科目 日本美術史概説B

担当 熊田 由美子

回答した学生 51名

受講登録者 72名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| | 設問 | 1 |
|---|--------|----|
| 5 | 100% | 12 |
| 4 | 90%くらい | 22 |
| 3 | 80%くらい | 15 |
| 2 | 70%くらい | 2 |
| 1 | 60%以下 | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 51 |

| | 設問 | 2 | 3 |
|---|------------|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 8 | 11 |
| 4 | ややそう思う | 19 | 19 |
| 3 | どちらともいえない | 19 | 17 |
| 2 | あまりそう思わない | 3 | 3 |
| 1 | まったくそう思わない | 2 | 1 |
| | 無回答 | 0 | 0 |
| | 小計 | 51 | 51 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

| | 設問 | 4 |
|---|------------|----|
| 5 | 強くそう思う | 8 |
| 4 | ややそう思う | 15 |
| 3 | どちらともいえない | 20 |
| 2 | あまりそう思わない | 5 |
| 1 | まったくそう思わない | 3 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 51 |

| | 設問 | 5 |
|---|------------|----|
| 5 | ほぼ時間どおり | 22 |
| 4 | 延長することが多い | 21 |
| 3 | 開始が遅いことが多い | 6 |
| 2 | 早く終わることが多い | 1 |
| 1 | よくわからない | 1 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 51 |

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| | 設問 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|---|------------|----|----|----|----|----|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 10 | 11 | 10 | 20 | 5 | 14 | 9 |
| 4 | ややそう思う | 12 | 16 | 14 | 20 | 11 | 17 | 21 |
| 3 | どちらともいえない | 17 | 17 | 14 | 11 | 25 | 18 | 17 |
| 2 | あまりそう思わない | 8 | 6 | 7 | 0 | 8 | 1 | 4 |
| 1 | まったくそう思わない | 3 | 1 | 5 | 0 | 2 | 1 | 0 |
| | 無回答 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 51 | 51 | 51 | 51 | 51 | 51 | 51 |

科目 現代アート概説A

担当 小西 信之

回答した学生 82 名

受講登録者 112 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| | 設問 | 1 |
|---|--------|----|
| 5 | 100% | 40 |
| 4 | 90%くらい | 30 |
| 3 | 80%くらい | 9 |
| 2 | 70%くらい | 3 |
| 1 | 60%以下 | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 82 |

| | 設問 | 2 | 3 |
|---|------------|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 22 | 47 |
| 4 | ややそう思う | 39 | 27 |
| 3 | どちらともいえない | 20 | 8 |
| 2 | あまりそう思わない | 1 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 |
| | 小計 | 82 | 82 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

| | 設問 | 4 |
|---|------------|----|
| 5 | 強くそう思う | 18 |
| 4 | ややそう思う | 23 |
| 3 | どちらともいえない | 29 |
| 2 | あまりそう思わない | 6 |
| 1 | まったくそう思わない | 5 |
| | 無回答 | 1 |
| | 小計 | 82 |

| | 設問 | 5 |
|---|------------|----|
| 5 | ほぼ時間どおり | 58 |
| 4 | 延長することが多い | 6 |
| 3 | 開始が遅いことが多い | 10 |
| 2 | 早く終わることが多い | 7 |
| 1 | よくわからない | 1 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 82 |

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| | 設問 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|---|------------|----|----|----|----|----|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 55 | 48 | 57 | 66 | 18 | 44 | 54 |
| 4 | ややそう思う | 19 | 21 | 17 | 10 | 14 | 19 | 21 |
| 3 | どちらともいえない | 6 | 10 | 8 | 6 | 37 | 16 | 7 |
| 2 | あまりそう思わない | 1 | 3 | 0 | 0 | 10 | 3 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 |
| | 無回答 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 82 | 82 | 82 | 82 | 82 | 82 | 82 |

| | | | | | | | |
|------|-----------|----|----|-----|------|---------|--|
| 授業科目 | 現代アート概説 A | | | 担当者 | 小西信之 | | |
| 開講時期 | 2011 年前期 | 曜日 | 水曜 | 時限 | 5 | アンケート様式 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 |

1 この授業における教育方法の特徴

美術の講義なので、作品を視覚的に見せることを重視しており、プロジェクターでパソコンから画像を投影しながら行っている。素材はキーノート（Mac 版パワーポイント）に準備し、動画、静止画を問わず、視覚情報をふんだんに示しながら、解説を行っている。現代アートを深く感覚的に理解してもらうことを狙いとしている。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

出席も良く（85%が、9 割の出席）、意欲的に取り組んだとする学生が 75%、関心が高まったと答えた学生が 90%であり、全体に非常に良いかたちで受講していると思われる。

(2) 授業について

全体に高い評価を得ている。「良い授業であったか」を問う総合評価では「強くそう思う」が 66%、「ややそう思う」が 26%で「よい」の評価がトータル 92%となっている。100 人規模の授業では好結果といえる。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

- ・映像作品とか見れておもしろかったです。
- ・先生が色々なアーティストのことを教えてくださるので、とても面白い内容でした。
- ・先生の説明がわかりやすく、興味をもてる。良い。
といった内容の意見を 2 2 件頂いた。

(4) 自由記述より学生からの要望について

- ・先生の話がおもしろかっただけに、もっとプリント等がほしかった。
- ・先生早口で聞き取れないことが多々ありました。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

学生は今すぐ役立つ今の情報をより多く欲しているが、基本的な流れを教えることをベースにすることは変わらない。基本そのものをもっと深め、また講義の仕方そのものをもっと工夫し、学生が自力で美術について考え始めるように、美術の奥深さを伝えられるようにしたい。キャプションは講義のプレゼンスタイル上難しいところもある。プリントを配るなど文字情報にももっと気を配るようにしたい。

4 その他、意見

科目 現代アート概説B

担当 小西 信之

回答した学生 69 名

受講登録者 112 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| | 設問 | 1 |
|---|--------|----|
| 5 | 100% | 23 |
| 4 | 90%くらい | 35 |
| 3 | 80%くらい | 8 |
| 2 | 70%くらい | 3 |
| 1 | 60%以下 | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 69 |

| | 設問 | 2 | 3 |
|---|------------|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 26 | 38 |
| 4 | ややそう思う | 34 | 27 |
| 3 | どちらともいえない | 7 | 4 |
| 2 | あまりそう思わない | 2 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 |
| | 小計 | 69 | 69 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

| | 設問 | 4 |
|---|------------|----|
| 5 | 強くそう思う | 18 |
| 4 | ややそう思う | 21 |
| 3 | どちらともいえない | 23 |
| 2 | あまりそう思わない | 4 |
| 1 | まったくそう思わない | 3 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 69 |

| | 設問 | 5 |
|---|------------|----|
| 5 | ほぼ時間どおり | 50 |
| 4 | 延長することが多い | 9 |
| 3 | 開始が遅いことが多い | 9 |
| 2 | 早く終わることが多い | 0 |
| 1 | よくわからない | 1 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 69 |

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| | 設問 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|---|------------|----|----|----|----|----|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 46 | 43 | 47 | 54 | 14 | 33 | 45 |
| 4 | ややそう思う | 16 | 19 | 19 | 12 | 19 | 24 | 22 |
| 3 | どちらともいえない | 6 | 6 | 3 | 3 | 27 | 10 | 2 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 2 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 |
| | 無回答 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 69 | 69 | 69 | 69 | 69 | 69 | 69 |

| | | | | | | | |
|------|-----------|----|----|-----|------|---------|--|
| 授業科目 | 現代アート概説 B | | | 担当者 | 小西信之 | | |
| 開講時期 | 2011 年後期 | 曜日 | 水曜 | 時限 | 5 | アンケート様式 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 |

1 この授業における教育方法の特徴

美術の講義なので、作品を視覚的に見せることを重視しており、プロジェクターでパソコンから画像を投影しながら行っている。素材はキーノート（Mac 版パワーポイント）に準備し、動画、静止画を問わず、視覚情報をふんだんに示しながら、解説を行っている。現代アートを深く感覚的に理解してもらうことを狙いとしている。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

出席も良く（84%が、9 割の出席）、意欲的に取り組んだとする学生が 87%、関心が高まったと答えた学生が 94%であり、全体に非常に良いかたちで受講していると思われる。

(2) 授業について

全体に高い評価を得ている。「良い授業であったか」を問う総合評価では「強くそう思う」が 65%、「ややそう思う」が 32%で「よい」の評価がトータル 97%となっている。100 人規模の授業では好結果といえる。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

以下学生の回答をそのままペースト

- ・先生がおもしろかった。
- ・小西先生の説明はいつも的確でとても分かりやすいです。先生の意見に芝〔ママ〕が通っていてきいていてワクワクします。
- ・図版が多く分かりやすい。
- ・毎回作品の説明がとてもわかりやすい。理解しやすい。一見ではよくわからない作品も説明を聞いた後ではあきらかに印象が変わる。
- ・とてもいい授業でした。現代アートにとっても興味を持ちました。ありがとうございます。
- ・小西先生の講義を通年受講し、現代美術の世界において、自分をどう表現していくかがいかに大切であるかを学ばせて頂きました。来年も聞きたいです。
- ・説明がわかりやすくて、興味がわきました。
- ・履しゅうした授業の中で1 番興味深く、おもしろい授業でした。来年も受けたいです。

(4) 自由記述より学生からの要望について

- ・とくになし。

だったが、引き続き改良・改善に努めたい。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

学生は今すぐ役立つ今の情報をより多く欲しているが、基本的な流れを教えることをベースにすることは変わらない。基本そのものをもっと深め、また講義の仕方そのものをもっと工夫し、学生が自力で美術について考え始めるように、現代美術の奥深さを伝えられるようにしたい。プリントを配るなど文字情報にももっと気を配るようにしたい。

4 その他、意見

科目 現代アート論特講Ⅱ

担当 小西 信之

回答した学生 3名

受講登録者 10名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| | 設問 | 1 |
|---|--------|---|
| 5 | 100% | 0 |
| 4 | 90%くらい | 2 |
| 3 | 80%くらい | 1 |
| 2 | 70%くらい | 0 |
| 1 | 60%以下 | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 3 |

| | 設問 | 2 | 3 |
|---|------------|---|---|
| 5 | 強くそう思う | 2 | 3 |
| 4 | ややそう思う | 1 | 0 |
| 3 | どちらともいえない | 0 | 0 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 |
| | 小計 | 3 | 3 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

| | 設問 | 4 |
|---|------------|---|
| 5 | 強くそう思う | 1 |
| 4 | ややそう思う | 2 |
| 3 | どちらともいえない | 0 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 3 |

| | 設問 | 5 |
|---|------------|---|
| 5 | ほぼ時間どおり | 1 |
| 4 | 延長することが多い | 1 |
| 3 | 開始が遅いことが多い | 1 |
| 2 | 早く終わることが多い | 0 |
| 1 | よくわからない | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 3 |

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| | 設問 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|---|------------|---|---|---|---|----|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 4 | ややそう思う | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 3 | どちらともいえない | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |

| | | | | | | | |
|---|-----------|----|----|-----|------|---------|--|
| 授業科目 | 現代アート論特講Ⅱ | | | 担当者 | 小西信之 | | |
| 開講時期 | 2011年後期 | 曜日 | 月曜 | 時限 | 3 | アンケート様式 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 |
| <p>1 この授業における教育方法の特徴 概説よりも踏み込んだ、現代アートの専門的な主題・論点を講じている。前半は教員は講義を行い、最後の数回は、それをもとにした学生発表を行った。</p> <p>2 アンケート結果の所見</p> <p>(1) 受講した学生自身について 67%が、9割の出席、意欲的に取り組んだとする学生が100%、関心が高まったと答えた学生は100%。</p> <p>(2) 授業について 「良い授業であったか」を問う総合評価では「強くそう思う」が67%、「ややそう思う」が33%で「よい」の評価がトータル100%。</p> <p>(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて ・楽しいと思いました。</p> <p>(4) 自由記述より学生からの要望について ・記述なし。</p> <p>3 今後の授業の工夫・改善（FD）</p> <p>この授業は芸術学の学生を中心に想定していたが、実際の受講生は実技の学生ばかりで、いくぶん軌道修正を余儀なくされた。本学の特講の授業（実技の学生も芸術学の学生も取る、そしてデザイン工芸の学生も取る）における適切な授業のレベル、やり方をいまだに模索中である。</p> <p>4 その他、意見</p> | | | | | | | |

科目 デザイン・工芸論A

担当 柴崎 幸次

回答した学生 47 名

受講登録者 48 名

●受講した学生についての質問

1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。

2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。

3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| | 設問 | 1 |
|---|--------|----|
| 5 | 100% | 34 |
| 4 | 90%くらい | 12 |
| 3 | 80%くらい | 1 |
| 2 | 70%くらい | 0 |
| 1 | 60%以下 | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 47 |

| | 設問 | 2 | 3 |
|---|------------|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 22 | 31 |
| 4 | ややそう思う | 20 | 12 |
| 3 | どちらともいえない | 4 | 4 |
| 2 | あまりそう思わない | 1 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 |
| | 小計 | 47 | 47 |

●授業についての質問

4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。

5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

| | 設問 | 4 |
|---|------------|----|
| 5 | 強くそう思う | 12 |
| 4 | ややそう思う | 11 |
| 3 | どちらともいえない | 19 |
| 2 | あまりそう思わない | 3 |
| 1 | まったくそう思わない | 2 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 47 |

| | 設問 | 5 |
|---|------------|----|
| 5 | ほぼ時間どおり | 31 |
| 4 | 延長することが多い | 6 |
| 3 | 開始が遅いことが多い | 6 |
| 2 | 早く終わることが多い | 1 |
| 1 | よくわからない | 3 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 47 |

6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。

7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。

8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。

10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。

11 教室・設備については適切でしたか。

12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| | 設問 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|---|------------|----|----|----|----|----|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 25 | 19 | 27 | 33 | 18 | 23 | 35 |
| 4 | ややそう思う | 13 | 14 | 12 | 11 | 21 | 14 | 9 |
| 3 | どちらともいえない | 8 | 13 | 8 | 3 | 6 | 8 | 3 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 |
| | 無回答 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 47 | 47 | 47 | 47 | 47 | 47 | 47 |

| | | | | | | | | |
|---|-----------|----|---|----|-----|---------|--|--------------------------------|
| 授業科目 | デザイン・工芸論A | | | | 担当者 | 柴崎幸次 | | |
| 開講時期 | 前期 | 曜日 | 金 | 時限 | 3 | アンケート様式 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義 | <input type="checkbox"/> 実技・実習 |
| <p>1 この授業における教育方法の特徴 デザイン・工芸論Aに関して、この授業は、デザイン・陶磁各教員が2回コマずつ行っているが、全体的にはおおむね良好な状況で授業が行われたことが、アンケートから読み取ることができる。</p> <p>2 アンケート結果の所見</p> <p>(1) 受講した学生自身について アンケート設問の、1の出席など、授業に対して高い関心があることがわかる。</p> <p>(2) 授業について アンケート設問の、5の授業時間、6の話すスピード、8の説明、9の授業準備に関して強くそう思うなど、高評価の項目が多い。また、その他の評価も良好であった。</p> <p>(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて 自由記述アンケートの学生からの意見としては、 a 各先生の授業の進め方の違いがおもしろい。b 先生が何人もいるのが良い。c 先生方がどんな考えでものをデザインされているのかお話を聞くことができるととても興味深かった。d 色々な先生の話（考え方や経験など）が聴けておもしろかった、などの意見があった。</p> <p>(4) 自由記述より学生からの要望について 学生からの要望としては、a 先生によって授業の感じが全くちがう。b 机が狭いので場所をどうにかしてほしい。c いすがしんどい。d 冬は寒すぎる。など設備の要望に関する意見があった。</p> <p>3 今後の授業の工夫・改善（FD）</p> <p>4 その他、意見</p> | | | | | | | | |

科目 デザイン・工芸論B

担当 デザイン専攻・陶磁専攻

回答した学生 41名

受講登録者 49名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| 設問 | 1 |
|----------|----|
| 5 100% | 24 |
| 4 90%くらい | 13 |
| 3 80%くらい | 3 |
| 2 70%くらい | 1 |
| 1 60%以下 | 0 |
| 無回答 | 0 |
| 小計 | 41 |

| 設問 | 2 | 3 |
|--------------|----|----|
| 5 強くそう思う | 14 | 16 |
| 4 ややそう思う | 11 | 16 |
| 3 どちらともいえない | 14 | 7 |
| 2 あまりそう思わない | 1 | 0 |
| 1 まったくそう思わない | 1 | 2 |
| 無回答 | 0 | 0 |
| 小計 | 41 | 41 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

| 設問 | 4 |
|--------------|----|
| 5 強くそう思う | 8 |
| 4 ややそう思う | 5 |
| 3 どちらともいえない | 11 |
| 2 あまりそう思わない | 10 |
| 1 まったくそう思わない | 7 |
| 無回答 | 0 |
| 小計 | 41 |

| 設問 | 5 |
|--------------|----|
| 5 ほぼ時間どおり | 20 |
| 4 延長することが多い | 13 |
| 3 開始が遅いことが多い | 6 |
| 2 早く終わることが多い | 0 |
| 1 よくわからない | 2 |
| 無回答 | 0 |
| 小計 | 41 |

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| 設問 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|--------------|----|----|----|----|----|----|----|
| 5 強くそう思う | 13 | 12 | 13 | 21 | 8 | 6 | 20 |
| 4 ややそう思う | 15 | 12 | 14 | 13 | 8 | 4 | 15 |
| 3 どちらともいえない | 11 | 13 | 12 | 5 | 18 | 15 | 4 |
| 2 あまりそう思わない | 0 | 3 | 1 | 2 | 4 | 13 | 1 |
| 1 まったくそう思わない | 1 | 1 | 1 | 0 | 3 | 3 | 1 |
| 無回答 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 小計 | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 | 41 |

| | | | | | | | |
|------|-----------|----|---|----|-----|---------|--|
| 授業科目 | デザイン・工芸論B | | | | 担当者 | 梅本孝征 | |
| 開講時期 | 後期 | 曜日 | 金 | 時限 | 4 | アンケート様式 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 |

1 この授業における教育方法の特徴

デザイン・工芸科の教員により、デザイン・工芸史を中心に、歴史的な事例とデザイン・工芸の系譜に関して幅広く講義をおこない、デザイン・工芸の理解を深め、将来のデザイン・工芸研究の基礎を担う知識を身に付けることを目的として授業をおこなっている。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

アンケートの回答率は81, 6パーセントであった。

質問1、授業への出席については40名中40名が、(5/100%=24名、4/90%くらい=13名3/80%=3名)と回答している。また、質問2、授業に意欲的に取り組めたかについては、40名中38名が(5/強く思う=14名、4/やや思う=11名、3/どちらともいえない=13名)と回答している。質問3、その後の授業内容への興味・関心の高さについても40名中38名が、(5/強く思う=16、4/やや思う=16名、3/どちらともいえない=6名)と回答しており、それぞれの講義内容により学生個々のモチベーションの違いは想像できるが、概ねの学生がこの授業全般に対して高い関心を示し、意欲的に取り組んだといえる。

(2) 授業について

質問4、「シラバス」は授業の選択に役立ったかでは、40名中28名が(3/どちらともいえない=11名、2/あまりそう思わない=10名、1/まったくそう思わない=7名)と答えている。シラバスへの関心が低かったのは本授業が必修であることで選択の必要性が無かった為と思われる。質問5、授業の開始・終了時間が正しく守られていたかでは、40名中19名が(5/ほぼ時間どおり=19名)と回答している一方、40名中19名が(4/延長することが多い=13名、3/開始が遅いことが多い=6名)と答えていることから、授業時間の開始と終了にあたっては、各講師の配慮が求められる。質問6、教員の話し方、話すスピードが適切であったかでは、40名中38名が(5/強く思う=12名、4/やや思う=15名、3/どちらともいえない=11名)と回答している。質問7、板書やプリント、資料等見やすかったでは、40名中36名が(5/強く思う=11名、4/やや思う=12名、3/どちらともいえない=13名)と答えている。やや数字にばらつきを感じるのは、映像を使う授業なども多く施設や設備が十分に対応しきれていないと思われる。これは質問11の回答の結果からも推測できる。8、教員の説明の仕方は分り易かったでは、40名中38名が(5/強く思う=12名、4/やや思う=14名、3/どちらともいえない=12名)と答えている。質問9、教員は授業をよく準備し、熱心に教えているかでは、40名中38名が(5/強く思う=20名、4/やや思う=13名、3/どちらともいえない=5名)と答えている。質問10、教員とコミュニケーションはとれていたかでは、40名中33名が、(5/強く思う=7名、4/やや思う=8名、3/どちらともいえない=18名)と答えている。肯定的回答がやや少なく思うが、対象の学生が2専攻の1年生ということ、毎回講師が交替する授業であることからの結果であろう。質問12、授業全般についての総合的評価では、よい授業だと40名中38名が(5/強く思う=19名、4/やや思う=15名、3/どちらともいえない=4名)と回答している。以上の結果から学生がこの授業に対して、概ねよい評価をしているのが判る。但し、質問11、教室、設備については適切でしたかでは、40名中31名が(3/どちらともいえない=15名、2/あまりそう思わない=13名、1/まったくそう思わない=3名)と授業についての質問のなかでも否定的意見が多くなっていることから対応を望みたい。

(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて

この自由記述に答えた学生の本授業に対する回答を読むと、ほぼ以下の点に集約できる。本授業は、デザイン・工芸科の教員により毎回講義内容が替わり、各教員の専門性が生かせる授業になっており、特徴ともなっている。学生にとっていろいろな価値観をもった講師の専門的な話は新鮮で魅力のあるものとして受け止められているようで、デザイン・工芸分野における知識の享受に終わらず、学生個々の興味の幅を広げることに役立っている。

(4) 自由記述より学生からの要望について

授業における施設整備に関して、冷暖房の空調設備の改善、机と椅子の使い辛さに対する苦情など多くの要望があったので是非改善をお願いしたい

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

本授業への学生の意見からは、特に大きな改善を望む声は聞かれなかった。どちらかと言えば本授業の趣旨を理解して好感をもって受け入れられていると思える。体制としては現状の良いところを続け、各教員が引き続き工夫をしていくことで、よい授業を維持できると思われる。但し、施設整備による授業環境の改善は良い授業をしていく為にも必要であろう。

4 その他、意見

特になし。

科目 デザイン特講A

担当 今尾 泰三

回答した学生 30 名

受講登録者 40 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| | 設問 | 1 |
|---|--------|----|
| 5 | 100% | 12 |
| 4 | 90%くらい | 14 |
| 3 | 80%くらい | 2 |
| 2 | 70%くらい | 2 |
| 1 | 60%以下 | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 30 |

| | 設問 | 2 | 3 |
|---|------------|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 13 | 18 |
| 4 | ややそう思う | 14 | 10 |
| 3 | どちらともいえない | 3 | 1 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 1 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 |
| | 小計 | 30 | 30 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

| | 設問 | 4 |
|---|------------|----|
| 5 | 強くそう思う | 7 |
| 4 | ややそう思う | 9 |
| 3 | どちらともいえない | 11 |
| 2 | あまりそう思わない | 2 |
| 1 | まったくそう思わない | 1 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 30 |

| | 設問 | 5 |
|---|------------|----|
| 5 | ほぼ時間どおり | 15 |
| 4 | 延長することが多い | 10 |
| 3 | 開始が遅いことが多い | 4 |
| 2 | 早く終わることが多い | 0 |
| 1 | よくわからない | 0 |
| | 無回答 | 1 |
| | 小計 | 30 |

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| | 設問 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|---|------------|----|----|----|----|----|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 8 | 12 | 12 | 16 | 8 | 7 | 17 |
| 4 | ややそう思う | 13 | 8 | 12 | 9 | 10 | 11 | 9 |
| 3 | どちらともいえない | 9 | 10 | 6 | 5 | 9 | 7 | 4 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 5 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 |

| | | | | | | | | |
|--|----------|----|---|----|-----|-----------|--|-----------------------------|
| 授業科目 | デザイン特講 A | | | | 担当者 | デザイン非常勤教員 | | |
| 開講時期 | 前期 | 曜日 | 水 | 時限 | 3 | アンケート様式 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義 | <input type="checkbox"/> 実習 |
| <p>1 この授業における教育方法の特徴 デザインを様々な視点から考察し、デザインについての理解を深めることを目標とする。様々な分野で活躍するプロフェッショナルである講師陣の講義を毎週体験することができる。</p> <p>2 アンケート結果の所見 (1) 受講した学生自身について 「出席」については学部3年生の必修の授業であることもあり高い出席率である。また「意欲・関心」の点でもほとんど8割から9割の学生が強い意欲、高い関心を示しており、この授業に対する関心の高さが伺える。</p> <p>(2) 授業について 質問に対して4,5の「ややそう思う」「強くそう思う」が多く、学生の満足感が高いことが伺えるが「シラバスは役に立ったか」や「教室・設備」に関しては半分を少し超える程度になっており、より良い改善が必要である。「教員とのコミュニケーション」に関して、高評価は6割から7割なのは、短時間で毎時間外部の別講師の講義である以上いたしかた無いと言える。</p> <p>(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて ほとんどが高い評価をしており、学生にとって外部からのプロフェッショナルな専門家の様々な話は新鮮で刺激的でありデザインを勉強する上で意欲をかき立てる授業である事が伝わる。</p> <p>(4) 自由記述より学生からの要望について 休講や補講の情報が伝わりにくいようである。外部、非常勤講師による単発の授業であるため、突発的な休講があり、伝達方法に工夫が必要かもしれない。</p> <p>3 今後の授業の工夫・改善 (FD) この授業が学生にとって大変刺激的で視野を広げる授業であることが認められる。それだけに休講などの情報の伝達をスムーズにする必要があると思われる。 また、教室の空調、より良い状態で講義が行うことが出来、また聴講できる、よりいっそうの環境整備も必要である。</p> <p>4 その他、意見 特になし。</p> | | | | | | | | |

科目 デザイン特講B

担当 デザイン専攻

回答した学生 25名

受講登録者 39名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。
- 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| 設問 | | 1 |
|----|--------|----|
| 5 | 100% | 6 |
| 4 | 90%くらい | 7 |
| 3 | 80%くらい | 9 |
| 2 | 70%くらい | 3 |
| 1 | 60%以下 | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| 小計 | | 25 |

| 設問 | | 2 | 3 |
|----|------------|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 11 | 16 |
| 4 | ややそう思う | 8 | 8 |
| 3 | どちらともいえない | 5 | 1 |
| 2 | あまりそう思わない | 1 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 |
| 小計 | | 25 | 25 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

| 設問 | | 4 |
|----|------------|----|
| 5 | 強くそう思う | 6 |
| 4 | ややそう思う | 7 |
| 3 | どちらともいえない | 11 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 1 |
| | 無回答 | 0 |
| 小計 | | 25 |

| 設問 | | 5 |
|----|------------|----|
| 5 | ほぼ時間どおり | 18 |
| 4 | 延長することが多い | 4 |
| 3 | 開始が遅いことが多い | 2 |
| 2 | 早く終わることが多い | 0 |
| 1 | よくわからない | 1 |
| | 無回答 | 0 |
| 小計 | | 25 |

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
- 8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
- 9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
- 10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 11 教室・設備については適切でしたか。
- 12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| 設問 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | |
|----|------------|----|----|----|----|----|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 15 | 11 | 16 | 19 | 9 | 4 | 17 |
| 4 | ややそう思う | 6 | 8 | 7 | 4 | 9 | 8 | 7 |
| 3 | どちらともいえない | 4 | 5 | 2 | 2 | 6 | 7 | 1 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 3 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 小計 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | |

科目 デザインプレゼンテーション

担当 佐藤 直樹

回答した学生 28 名

受講登録者 36 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| | 設問 | 1 |
|---|--------|----|
| 5 | 100% | 6 |
| 4 | 90%くらい | 11 |
| 3 | 80%くらい | 6 |
| 2 | 70%くらい | 4 |
| 1 | 60%以下 | 1 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 28 |

| | 設問 | 2 | 3 |
|---|------------|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 10 | 14 |
| 4 | ややそう思う | 11 | 7 |
| 3 | どちらともいえない | 7 | 7 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 |
| | 小計 | 28 | 28 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。 5 授業の開始時間や終了時間は正しく守られていましたか。

| | 設問 | 4 |
|---|------------|----|
| 5 | 強くそう思う | 2 |
| 4 | ややそう思う | 8 |
| 3 | どちらともいえない | 11 |
| 2 | あまりそう思わない | 3 |
| 1 | まったくそう思わない | 4 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 28 |

| | 設問 | 5 |
|---|------------|----|
| 5 | ほぼ時間どおり | 16 |
| 4 | 延長することが多い | 11 |
| 3 | 開始が遅いことが多い | 0 |
| 2 | 早く終わることが多い | 0 |
| 1 | よくわからない | 1 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 28 |

- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 板書やプリント、提示された資料等は見やすかったですか。
8 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
9 教員は授業をよく準備し、熱心に教えていると感じられましたか。
10 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
11 教室・設備については適切でしたか。
12 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| | 設問 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|---|------------|----|----|----|----|----|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 12 | 12 | 13 | 16 | 12 | 9 | 14 |
| 4 | ややそう思う | 11 | 12 | 10 | 8 | 9 | 8 | 9 |
| 3 | どちらともいえない | 3 | 3 | 5 | 3 | 7 | 9 | 4 |
| 2 | あまりそう思わない | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 1 |
| 1 | まったくそう思わない | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 28 | 28 | 28 | 28 | 28 | 28 | 28 |

| | | | | | | | |
|------|---------------|----|---|-----|------|---------|--|
| 授業科目 | デザインプレゼンテーション | | | 担当者 | 佐藤直樹 | | |
| 開講時期 | 前期 | 曜日 | 水 | 時限 | 2 | アンケート様式 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 |

1 この授業における教育方法の特徴

デザイン作品の制作に必要なさまざまな領域での基礎知識と、各種プレゼンテーションの基礎的な技術修得を目的とする。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

出席率、授業への意欲、関心度は概ね高いといえる。

(2) 授業について

授業の内容等については、高い割合で満足度が大きい傾向にあるといえる。積極的な不満は殆ど見られず、授業が当初の目的通り運営されたことが伺える。「シラバスの活用」についてのみ、「どちらともいえない」が最も多くの回答を占め、また否定的な回答も25%にのぼるなど、シラバスがこの授業に役立っているという事実は必ずしも見だし難い結果となった。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

「各領域に対する関心が持てた」という回答から、この授業における目標が意図通りに達成されていることを伺わせる。

(4) 自由記述より学生からの要望について

2限目という開講時間の変更に関する要望があった。また授業内容を選択制にしては、という要望があった。

3 今後の授業の工夫・改善 (FD)

概ね授業内容についての満足度は高く、またこの授業の意図するところを多くの学生は理解しているようであるが、今後検討すべき点として、(1) シラバスの充実または記載内容の再編集 (2) 授業時間帯の再検討の必要性を感じた。(2)については、3年生対象の「デザイン特講」では数年前に授業時間帯を変更し改善をしている。この授業においても変更は可能か、教養教育授業時間帯との整合性を踏まえながら慎重に検討を行いたい。

4 その他、意見

特になし

科目 デザイン実技 I

担当 柴崎 幸次

回答した学生 24 名

受講登録者 37 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
3 この授

| | 設問 | 1 |
|---|--------|----|
| 5 | 100% | 4 |
| 4 | 90%くらい | 11 |
| 3 | 80%くらい | 9 |
| 2 | 70%くらい | 0 |
| 1 | 60%以下 | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 24 |

| | 設問 | 2 | 3 |
|---|------------|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 14 | 18 |
| 4 | ややそう思う | 10 | 6 |
| 3 | どちらともいえない | 0 | 0 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 |
| | 小計 | 24 | 24 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
5 授業時間は十分だと感じましたか。
6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
9 教室・設備については適切でしたか。
10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| | 設問 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|------------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 5 | 11 | 12 | 8 | 12 | 4 | 13 | 15 |
| 4 | ややそう思う | 8 | 8 | 7 | 14 | 10 | 6 | 9 | 6 |
| 3 | どちらともいえない | 8 | 2 | 4 | 2 | 2 | 8 | 2 | 2 |
| 2 | あまりそう思わない | 1 | 3 | 1 | 0 | 0 | 4 | 0 | 1 |
| 1 | まったくそう思わない | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 |

| | | | | | | |
|---|----------|----|----|---------|--|--|
| 授業科目 | デザイン実技 I | | | 担当者 | 柴崎幸次 | |
| 開講時期 | 通年 | 曜日 | 時限 | アンケート様式 | <input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習 | |
| <p>1 この授業における教育方法の特徴 実技授業において課題の提示、専門的なレクチャー、制作、デザインチェック、最終講評をもって基本的に実施している。全体指導と個人指導を適宜取り入れながら、学生の技術習得と感性を磨き総合的にデザインの基礎が身につくことを目標にしている。</p> <p>2 アンケート結果の所見</p> <p>(1) 受講した学生自身について 学生は、個々に刺激を受け合いながら制作発表を行っていることが読み取ることができた。</p> <p>(2) 授業について アンケートから、教員実技授業の項目は、おおむね良好に授業が進行したことが読み取れた。また、カリキュラムは様々なデザイン分野の理解に至っていることが確認できた。指導に関しては、もっと厳しい指導を求める声もある。</p> <p>(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて デザインの魅力や楽しさを実感する学生の意見があった。 学生のデザイン能力やクリエイションを行う土壌ができたと判断している。</p> <p>(4) 自由記述より学生からの要望について 教育環境に関しては授業が実施できるレベルに満たないと判断されている。 制作環境が悪いから実技に出席ができないなど、意欲低下につながっている。 制作は時間がかかるもので、5 時に人が作業をしているのが分かっているが冷暖房を付けない体制に問題の指摘がある。 これらは早急に改善すべきである。</p> <p>3 今後の授業の工夫・改善 (FD) 課題等カリキュラムに関する事項は、おおむね良好な評価だが、シラバス、教室設備など問題の指摘が多い。デザイン科教授の高齢化が進んでいる、とても保守的で先生達自身が丸くなっている、第一線で活躍するデザイナーの授業がほしい・・・などの意見に関しては非常勤も入れながら対策を検討すべきと考えている。</p> <p>4 その他、意見 教員からの意見として。 やはり、設備・環境の要望が例年大半をしめている。大学としてこの問題に対して学生・保護者に回答する必要があるのではないかと感じている。意見を受けて大学はどう対応しているのか報告を望む。</p> | | | | | | |

科目 デザイン実技Ⅱ

担当 佐藤 直樹

回答した学生 27 名

受講登録者 37 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。
- 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| | 設問 | 1 |
|---|--------|----|
| 5 | 100% | 4 |
| 4 | 90%くらい | 12 |
| 3 | 80%くらい | 9 |
| 2 | 70%くらい | 2 |
| 1 | 60%以下 | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 27 |

| | 設問 | 2 | 3 |
|---|------------|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 16 | 17 |
| 4 | ややそう思う | 8 | 7 |
| 3 | どちらともいえない | 2 | 2 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 |
| | 無回答 | 1 | 1 |
| | 小計 | 27 | 27 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| | 設問 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|------------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 2 | 11 | 12 | 14 | 11 | 2 | 13 | 9 |
| 4 | ややそう思う | 9 | 7 | 9 | 9 | 12 | 4 | 10 | 13 |
| 3 | どちらともいえない | 8 | 6 | 5 | 3 | 3 | 6 | 3 | 4 |
| 2 | あまりそう思わない | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 7 | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 | 0 | 0 |
| | 無回答 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | 小計 | 27 | 27 | 27 | 27 | 27 | 27 | 27 | 27 |

科目 デザイン実技Ⅲ

担当 今尾 泰三

回答した学生 12 名

受講登録者 34 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。
- 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| | 設問 | 1 |
|---|--------|----|
| 5 | 100% | 1 |
| 4 | 90%くらい | 8 |
| 3 | 80%くらい | 1 |
| 2 | 70%くらい | 2 |
| 1 | 60%以下 | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 12 |

| | 設問 | 2 | 3 |
|---|------------|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 8 | 9 |
| 4 | ややそう思う | 2 | 1 |
| 3 | どちらともいえない | 2 | 2 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 |
| | 小計 | 12 | 12 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| | 設問 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|------------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 1 | 2 | 6 | 5 | 4 | 1 | 6 | 6 |
| 4 | ややそう思う | 4 | 5 | 2 | 4 | 6 | 2 | 6 | 3 |
| 3 | どちらともいえない | 4 | 4 | 3 | 2 | 2 | 4 | 0 | 2 |
| 2 | あまりそう思わない | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 |
| 1 | まったくそう思わない | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 |

科目 デザイン実技Ⅳ

担当 石井 晴雄

回答した学生 20 名

受講登録者 37 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。
- 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| 設問 | | 1 |
|----|--------|----|
| 5 | 100% | 7 |
| 4 | 90%くらい | 6 |
| 3 | 80%くらい | 5 |
| 2 | 70%くらい | 2 |
| 1 | 60%以下 | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| 小計 | | 20 |

| 設問 | | 2 | 3 |
|----|------------|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 13 | 16 |
| 4 | ややそう思う | 5 | 3 |
| 3 | どちらともいえない | 1 | 1 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 1 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 |
| 小計 | | 20 | 20 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| 設問 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|--------------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 5 強くそう思う | 2 | 8 | 11 | 11 | 8 | 3 | 11 | 14 |
| 4 ややそう思う | 3 | 8 | 6 | 6 | 10 | 1 | 8 | 5 |
| 3 どちらともいえない | 10 | 4 | 3 | 2 | 2 | 5 | 1 | 1 |
| 2 あまりそう思わない | 3 | 0 | 0 | 1 | 0 | 5 | 0 | 0 |
| 1 まったくそう思わない | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 小計 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 |

科目 陶磁実技 I

担当 佐藤 文子

回答した学生 11 名

受講登録者 11 名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。
- 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| | 設問 | 1 |
|---|--------|----|
| 5 | 100% | 3 |
| 4 | 90%くらい | 6 |
| 3 | 80%くらい | 1 |
| 2 | 70%くらい | 1 |
| 1 | 60%以下 | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 11 |

| | 設問 | 2 | 3 |
|---|------------|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 8 | 9 |
| 4 | ややそう思う | 2 | 2 |
| 3 | どちらともいえない | 0 | 0 |
| 2 | あまりそう思わない | 1 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 |
| | 小計 | 11 | 11 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| | 設問 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|------------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 1 | 1 | 2 | 3 | 2 | 3 | 6 | 4 |
| 4 | ややそう思う | 2 | 2 | 4 | 7 | 6 | 4 | 4 | 5 |
| 3 | どちらともいえない | 5 | 5 | 5 | 1 | 3 | 2 | 0 | 1 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 |
| 1 | まったくそう思わない | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 |

| 授業科目 | 陶磁実技 I | | | | 担当者 | 陶磁専攻教員 | |
|--|--------|----|---------|----|----------|---------|--|
| 開講時期 | 通年 | 曜日 | 月～ 金 | 時限 | 1・ 2限 | アンケート様式 | <input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習 |
| <p>1 この授業における教育方法の特徴 陶磁教育における基本的技術の習得と考える授業を通じて、自分らしい積極性あふれる学生を育成したい。</p> <p>2 アンケート結果の所見</p> <p>(1) 受講した学生自身について ほとんどの学生が、入学後に初めて土練りや成形といった陶磁基礎教育を体験する。よって、やや戸惑いも見られるが、課題の進行とともに理解を増し、努力している姿勢がみられる。</p> <p>(2) 授業について 課題制作時間の不足や設備環境については4, 3, 2ポイントが多い。 授業全般についての総合評価は、5, 4ポイントと思う学生がほとんどだった。</p> <p>(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて 教員とのコミュニケーションによって、個々の能力にあった指導に満足している。</p> <p>(4) 自由記述より学生からの要望について 空調や雨漏りについての施設設備充実への要望が強い。</p> <p>3 今後の授業の工夫・改善 (FD) 現在のカリキュラムを基本に、課題内容と課題目標をより明解にし、学生が興味をもって自主的に取り組むことができるように検討していきたい。</p> <p>4 その他、意見</p> | | | | | | | |

科目 陶磁実技Ⅱ

担当 川村 秀樹

回答した学生 8名

受講登録者 9名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。
- 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| | 設問 | 1 |
|---|--------|---|
| 5 | 100% | 0 |
| 4 | 90%くらい | 6 |
| 3 | 80%くらい | 2 |
| 2 | 70%くらい | 0 |
| 1 | 60%以下 | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 8 |

| | 設問 | 2 | 3 |
|---|------------|---|---|
| 5 | 強くそう思う | 5 | 3 |
| 4 | ややそう思う | 3 | 5 |
| 3 | どちらともいえない | 0 | 0 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 |
| | 小計 | 8 | 8 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| | 設問 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|------------|---|---|---|---|---|---|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 3 | 4 | 3 |
| 4 | ややそう思う | 0 | 2 | 4 | 5 | 7 | 2 | 4 | 5 |
| 3 | どちらともいえない | 4 | 3 | 3 | 2 | 1 | 2 | 0 | 0 |
| 2 | あまりそう思わない | 2 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 |

科目 陶磁実技Ⅲ(セラミックデザイン)

担当 長井 千春

回答した学生 4名

受講登録者 4名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。
- 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| | | 設問 | 1 |
|---|--------|----|---|
| 5 | 100% | | 0 |
| 4 | 90%くらい | | 2 |
| 3 | 80%くらい | | 2 |
| 2 | 70%くらい | | 0 |
| 1 | 60%以下 | | 0 |
| | 無回答 | | 0 |
| | | 小計 | 4 |

| | | 設問 | 2 | 3 |
|---|------------|----|---|---|
| 5 | 強くそう思う | | 3 | 3 |
| 4 | ややそう思う | | 1 | 1 |
| 3 | どちらともいえない | | 0 | 0 |
| 2 | あまりそう思わない | | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | | 0 | 0 |
| | 無回答 | | 0 | 0 |
| | | 小計 | 4 | 4 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| | | 設問 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|------------|----|---|---|---|---|---|---|----|----|
| 5 | 強くそう思う | | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 4 | 3 |
| 4 | ややそう思う | | 0 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 |
| 3 | どちらともいえない | | 2 | 1 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 2 | あまりそう思わない | | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 無回答 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 小計 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |

| | | | | | | |
|------|------------------|----|----|---------|--|--|
| 授業科目 | 陶磁実技Ⅲ（セラミックデザイン） | | | 担当者 | 長井千春 | |
| 開講時期 | 通年 | 曜日 | 時限 | アンケート様式 | <input checked="" type="checkbox"/> 実習 | |

1 この授業における教育方法の特徴

同実習の主眼は、30ヶの粘土基礎造形及び押し型技術習得、タイルデザイン及びシルクスクリーン技術習得、注器デザイン及び鋳込み型成形技術習得他、計4課題で構成されている。主にセラミックデザインに重要な基礎造形力と技術習得、デザインコンセプト立案とデザイン提案力の訓練に重きをおいている。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

今年度の受講学生数は4名であった。4名とも出席率、総じて学習意欲が高かった。

(2) 授業について

問4シラバスが授業選択にあまり役立っていないようだが、同授業ににおいて選択の余地はないためである。最も重要な問10,11において、授業が専門性向上に役立っていると学生全員が感じ、授業全般の評価は高かった。

問5で授業時間は足りなかったと感じているのはいつものことであり、時間数を増しても同様の解答が予想できる。また本年度の異常な夏の猛暑を考えると、問9設備への不満が垣間みられるのも納得がいく。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

1. 2年の基礎学年より授業の専門性が増しているが、その変化を理解し学生も意欲的に取り組んでいるようだ。

(4) 自由記述より学生からの要望について

陶磁専攻施設の通気性の悪さ、夏の猛暑に対応していない点に今年は特に苦情が多かった。空調設備の整備はすでに要望済みである。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

少人数指導体制をさらに生かし、学生とのコミュニケーションの機会をもっと増やしたい。

4 その他、意見

科目 陶磁実技Ⅲ(陶芸)

担当 梅本 孝征

回答した学生 6名

受講登録者 6名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。
- 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| | 設問 | 1 |
|---|--------|---|
| 5 | 100% | 1 |
| 4 | 90%くらい | 4 |
| 3 | 80%くらい | 0 |
| 2 | 70%くらい | 1 |
| 1 | 60%以下 | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 6 |

| | 設問 | 2 | 3 |
|---|------------|---|---|
| 5 | 強くそう思う | 5 | 4 |
| 4 | ややそう思う | 0 | 2 |
| 3 | どちらともいえない | 1 | 0 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 |
| | 小計 | 6 | 6 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| | 設問 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|------------|---|---|---|---|---|---|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 5 | 4 |
| 4 | ややそう思う | 0 | 1 | 3 | 4 | 3 | 3 | 1 | 2 |
| 3 | どちらともいえない | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 |
| 2 | あまりそう思わない | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 |

| | | | | | | |
|------|-----------|----|----|---------|--|--|
| 授業科目 | 陶磁実技Ⅲ（陶芸） | | | 担当者 | 梅本孝征 | |
| 開講時期 | 通年 | 曜日 | 時限 | アンケート様式 | <input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習 | |

1 この授業における教育方法の特徴

1、2年生の陶磁器の基礎に加え、より陶磁の専門的な技術と高い技術の習得を目指す。

前期には「器」・「大皿」・「壺」、後期には「花器」・「注器」といったロクロ成形での具体的課題を通じてその習得を目指す。また、陶器の成形・表現の研究のみならず、陶磁原料の研究、日本文化の研究、料理の研究、山野の植物スケッチ、美術館、博物館の見学等をおこない陶磁器の制作、研究に必要な技術と知識を横断的に習得する。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

アンケートの回答率は100%であった。

質問1、授業への出席については6名中5名が（5/100%=1名、4/90%くらい=4名）、6名中1名が（2/70%くらい=1名）と回答している。また、質問2、授業への意欲的な取り組みについては、6名中5名が（5/強くそう思う）、6名中1名が（3/どちらともいえない）と回答している。質問3、その後の授業内容への興味・関心の高さについては、6名中6名が（5/強くそう思う=4名、4/ややそう思う=2名）と回答しており、質問1、質問2で1名の学生がどちらともいえない回答をしているものの概ねの学生がこの授業に対して高い関心を示し、意欲的に取り組んだことがわかる。

(2) 授業について

質問4、「シラバス」は授業の選択に役立ったかでは、（5/強くそう思う=1名、3/どちらともいえない=2名、2/あまりそう思わない=2名、1/まったくそう思わない=1名）と答えており、シラバスへの関心が低かったのは本授業が必修であることで選択の必要性が無かった為であろう。質問5、授業時間が十分であったかでは、（5/強くそう思う=1名、4/ややそう思う=1名、3/どちらともいえない=2名、2/あまりそう思わない=2名）質問6、教員の話し方、話すスピードは適切であったかでは（5/強くそう思う=1名、4/ややそう思う=3名、3/どちらともいえない=2名）、質問7、教員とコミュニケーションはとれていたかでは、（4/ややそう思う=4名、3/どちらともいえない=2名）、質問8、自分にあった適切な指導を受けることができたかでは（4/ややそう思う=3名、3/どちらともいえない=2名）、質問10、授業が専門能力の向上に役立ちましたかでは、（5/強くそう思う=5名、4/ややそう思う=1名）、質問11、授業全般の総合的評価では、（5/強くそう思う=4名、4/ややそう思う=2名）と答えており、授業及び教員に対する評価では、授業時間に対する不満が認められるものの、その他否定的意見は無く、授業内容には概ね満足していると評価して良いと思われる。

質問9、教室、設備については適切でしたかでは（4/ややそう思う=3名、3/どちらともいえない=1名、2/あまりそう思わない=2名）とあり、自由記述欄でも要望の多い設備への不満が読み取れる。

(3) 自由記述より学生が特に良かったと判断しているところについて

客員教授の実技に対する高評価の記述があったが、非常勤講師等を含めた常勤教員以外の授業を積極的に取り入れていくことで、大学にいるからこそ経験できる機会を多くつくる。そして、多様な価値観にふれることで得られる自己の確立と創作への意欲を高めていく授業を継続していく。

(4) 自由記述より学生からの要望について

授業時間が足りないとの要望は、授業時間についてのアンケートにもあったが、実技における技術の習得は時間を掛けて、より多くの経験を重ねた結果得られる。実技における時間そのものはあると思うが、学生個々の能力もあり、より多くの時間を実技に割けるような工夫を学生自身がしていく指導をおこなう。

施設整備についての要望として、冬場の寒さが挙げられている。エアコンの設置、給湯器の設置等による授業環境の充実をはかる必要があり、強く要望したい。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

授業についてのアンケート結果から概ね学生の満足度は高い。しかし、授業時間への不満等も表れていることを考慮して、実技に集中して取り組めるような指導を学生個々に応じた形でこなしていく。

4 その他、意見

特になし。

科目 陶磁実技Ⅳ(セラミックデザイン)

担当 友岡 秀秋

回答した学生 7名

受講登録者 7名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。
- 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| 設問 | | 1 |
|----|--------|---|
| 5 | 100% | 1 |
| 4 | 90%くらい | 3 |
| 3 | 80%くらい | 0 |
| 2 | 70%くらい | 3 |
| 1 | 60%以下 | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| 小計 | | 7 |

| 設問 | | 2 | 3 |
|----|------------|---|---|
| 5 | 強くそう思う | 5 | 4 |
| 4 | ややそう思う | 2 | 2 |
| 3 | どちらともいえない | 0 | 1 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 |
| 小計 | | 7 | 7 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| 設問 | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|----|------------|---|---|---|---|---|---|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 1 | 2 | 3 | 3 | 2 | 0 | 3 | 3 |
| 4 | ややそう思う | 0 | 3 | 1 | 0 | 1 | 2 | 3 | 1 |
| 3 | どちらともいえない | 3 | 2 | 2 | 1 | 2 | 2 | 1 | 3 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 | 1 | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 小計 | | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 |

| | | | | | | | |
|------|------------------|----|----|-----|---------|-----------------------------|--|
| 授業科目 | 陶磁実技Ⅳ（セラミックデザイン） | | | 担当者 | 陶磁専攻全教員 | | |
| 開講時期 | 通年 | 曜日 | 時限 | | アンケート様式 | <input type="checkbox"/> 講義 | <input checked="" type="checkbox"/> 実習 |

1 この授業における教育方法の特徴

陶磁専攻では、3年次から専門教育期間と位置付け、陶芸コースとセラミックデザインコースに分かれて教育を行っている。それぞれのコースともに、より高度な技術・制作・創造力の習得を目指し、「用の美」をテーマに取り組んでいる。また学生個々の個性をより良く伸ばせるように個人指導を行っている。

2 アンケート結果の所見

(1) 受講した学生自身について

全員の学生が出席率 70%を超え、授業には大変意欲的に取り組み、また授業で扱った内容に対しても興味・関心がおおいに高まったという結果に対してはある程度の成果があったと判断できる。

(2) 授業について

授業全体への総合評価としては、教員との個人指導におけるコミュニケーションや力量にあった指導において、学生個々により多少のばらつきはあるが、指導体制における地味な改善の効果や3年次からの専門教育期間での個人指導が実を結んでいる結果であろう。

(3) 自由記述より学生が特によかったと判断しているところについて

特に専門能力の向上に役に立ったとの高い評価については3年次からの専門教育期間での個人指導が実を結んでいる結果であろう。

(4) 自由記述より学生からの要望について

特に強い要望があるのは空調関係の整備とスペースの問題である。
空調関係の整備は24年度予算において申請が通っており改善できる予定である。
スペースの問題はしっかり大学全体で対処願いたい。

3 今後の授業の工夫・改善（FD）

今後の授業においても個人指導における十分なコミュニケーション、力量に合った指導、さらなる専門能力の向上に役立つように工夫を凝らしていく。また表現形態の変化に対して伝統をしっかり踏まえ、且つ柔軟に対応していく必要がある。

シラバスについてはもう一度、学生の意見をしっかりと踏まえた上で改善していく。

4 その他、意見

特になし

科目 陶磁実技Ⅳ(陶芸)

担当 太田 公典

回答した学生 3名

受講登録者 3名

●受講した学生についての質問

- 1 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。
- 2 あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- 3 この授業を受けた後で、授業で扱われた内容への興味・関心が高まりましたか。

| | 設問 | 1 |
|---|--------|---|
| 5 | 100% | 1 |
| 4 | 90%くらい | 0 |
| 3 | 80%くらい | 2 |
| 2 | 70%くらい | 0 |
| 1 | 60%以下 | 0 |
| | 無回答 | 0 |
| | 小計 | 3 |

| | 設問 | 2 | 3 |
|---|------------|---|---|
| 5 | 強くそう思う | 3 | 3 |
| 4 | ややそう思う | 0 | 0 |
| 3 | どちらともいえない | 0 | 0 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 |
| | 小計 | 3 | 3 |

●授業についての質問

- 4 「シラバス」は授業の選択に役立ちましたか。
- 5 授業時間は十分だと感じましたか。
- 6 教員の話し方、話すスピードは適切でしたか。
- 7 教員とコミュニケーションはとれていましたか。
- 8 あなたの現在の力量に合った、適切な指導を受けることができましたか。
- 9 教室・設備については適切でしたか。
- 10 この授業はあなたの専門能力の向上に役立ちましたか。
- 11 授業全般について総合的に評価するとよい授業だと思いますか。

| | 設問 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|------------|---|---|---|---|---|---|----|----|
| 5 | 強くそう思う | 0 | 0 | 1 | 2 | 2 | 0 | 2 | 2 |
| 4 | ややそう思う | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 |
| 3 | どちらともいえない | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 2 | あまりそう思わない | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 1 | まったくそう思わない | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |